

なかがわ

流域面積 225.83 (147.10) km²
 流路延長 47.100km
 合流河川 海
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 行田市、羽生市、加須市、鷲宮町、大利根町、栗橋町、幸手市、杉戸町、春日部市、庄和町、松伏町、吉川市

※裸書きは支川を含んだ面積、()書きは支川を含まない面積

中川・整備計画概要

流域および河川の概要

- 中川は羽生市西部に源を発し、埼玉県北東部の5市6町を流下して中川の国の管理区間に至る一級河川である。流域の地形は極めて平坦であり、流域勾配は1/4,500~1/6,500である。
- 合流する主な支川（一級河川）としては、右岸に手子堀川、午の堀川、左岸には新槐堀川、権現堂川が合流し、幸手市にて幸手放水路を分流し、その下流で右岸に倉松川が合流している。
- 中川流域は利根川、江戸川及び旧利根川流路跡の大規模な自然堤防に囲まれた沖積低平地でいくつかの低地集団から成り、各集団は利根川乱流により形成された自然堤防により分割されている。
- 中川上流部における宇和田堰（昭和4年3月完了）は、中川の流路変遷にともない、流量規制を目的として設置されたものである。

治水計画

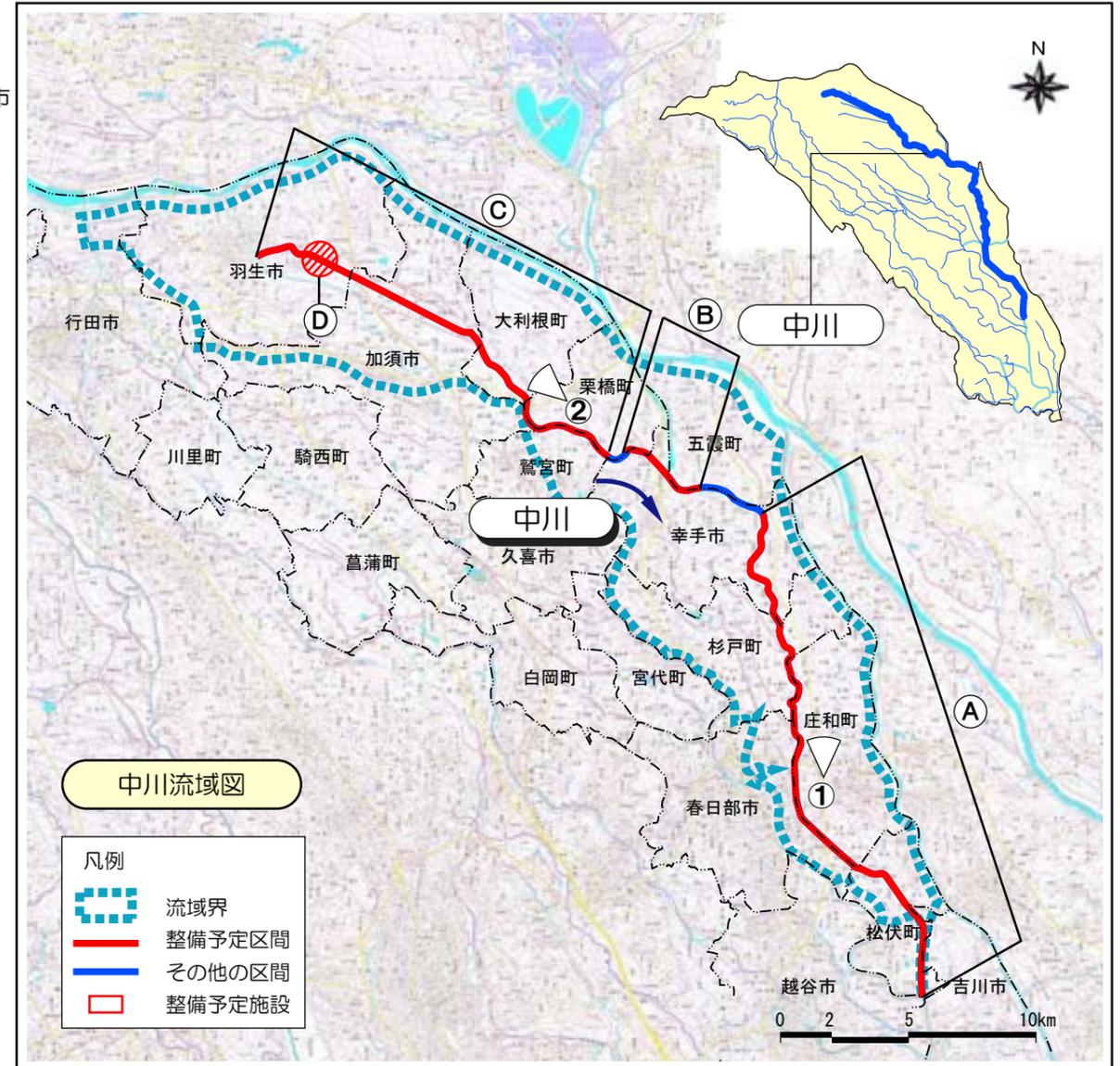
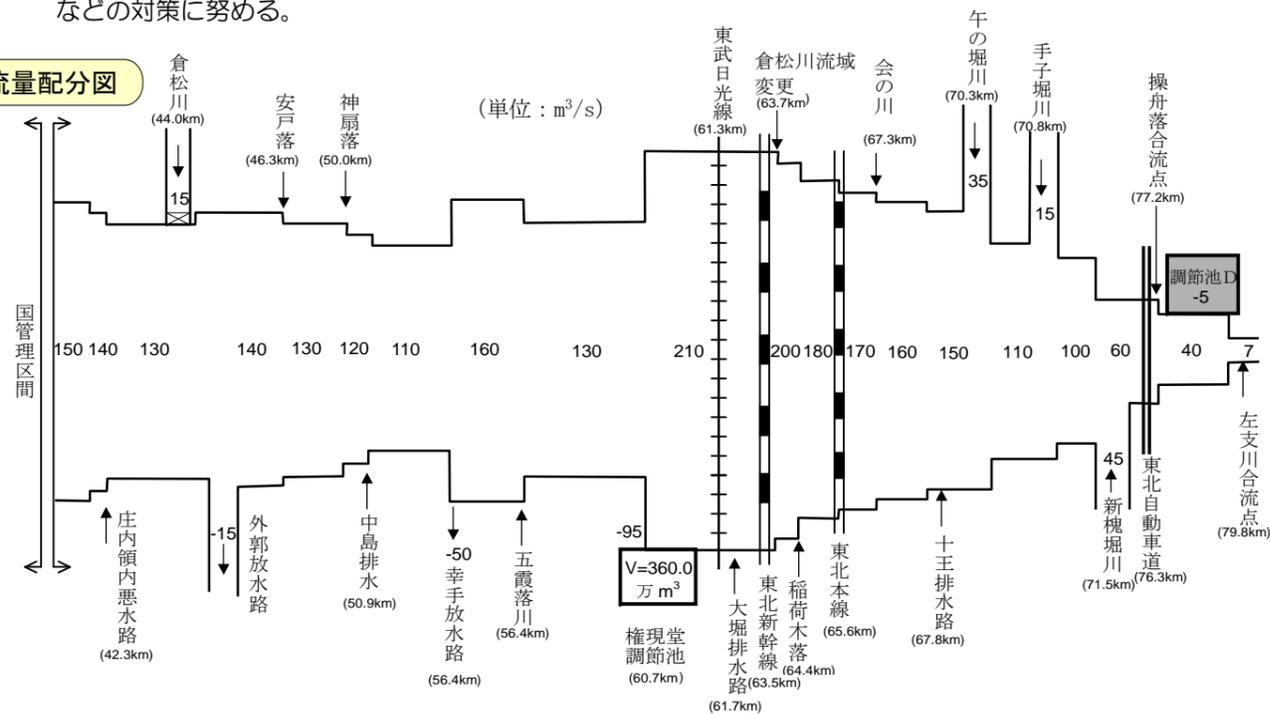
- 中川では、埼玉県管理区間下流端（河口から33.7km）から葛西用水（河口から80.8km）までの区間で、既に改修されている一部の区間を除く下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 - ＜整備予定区間＞（県管理区間下流端33.70km）～（宇和田公園橋上流56.17km）・・・A
 - （幸手市上古羽地先58.74km）～（昭和橋上流62.46km）・・・B
 - （東北新幹線高架橋下流63.37km）～（上流端80.80km）・・・C
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 - ＜整備予定施設＞（調節池）・・・D



整備上の留意点

- 改修にあたっては、動植物相に富んだ河川の特性を生かし、動植物の生息環境及び生育環境に配慮し、多自然護岸など自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 周辺環境と調和し、良好な自然環境を現状で有している区域については、ワンドなどの整備を含めた生物の移動回廊としての機能の保全に努める。
- 調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。

流量配分図



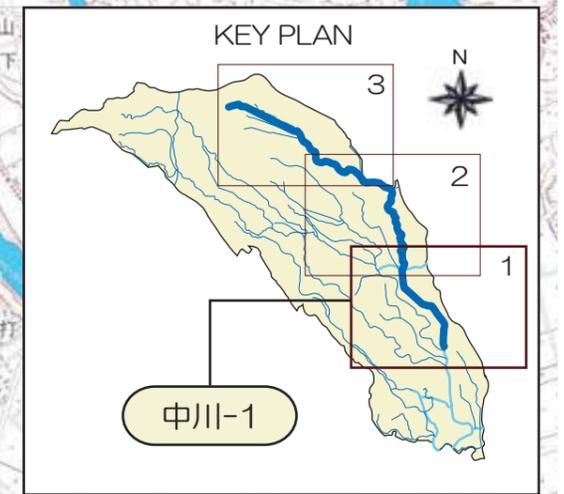
①中川42km付近



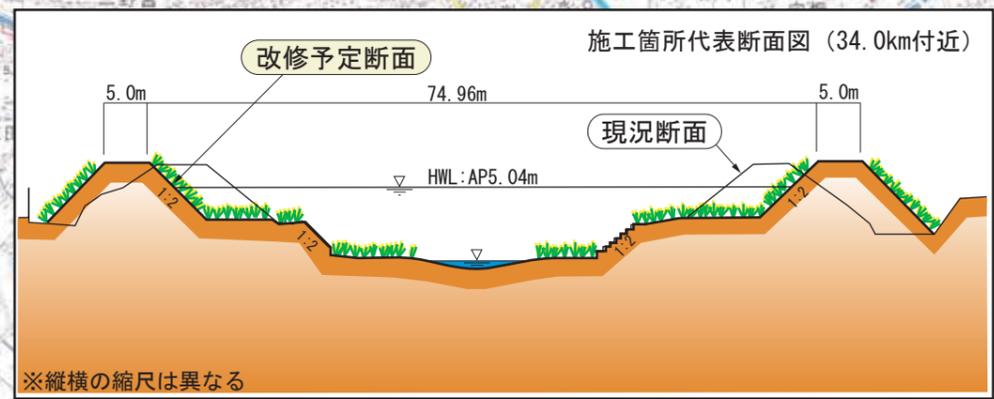
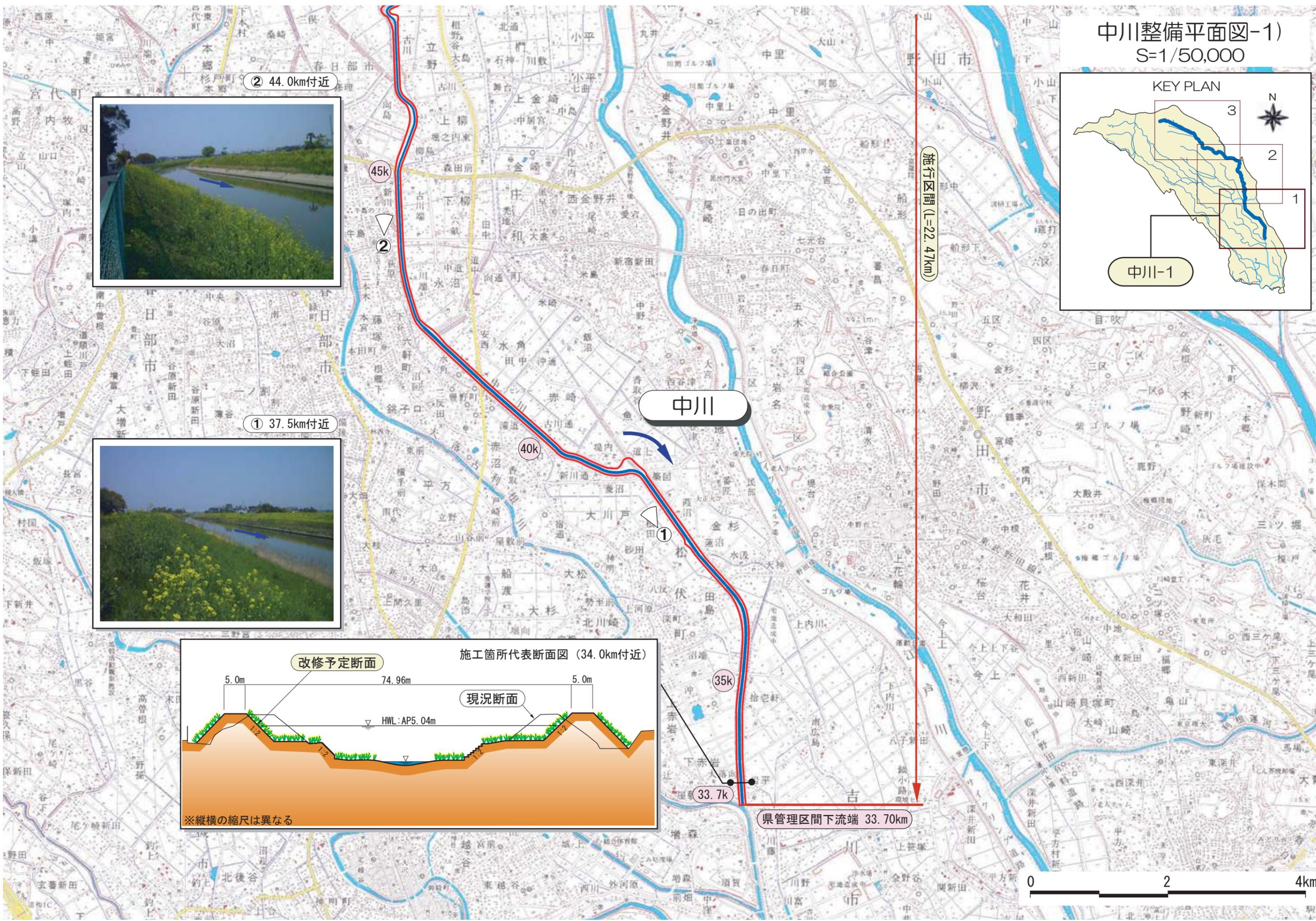
②中川62km付近



中川整備平面図-1)
S=1/50,000

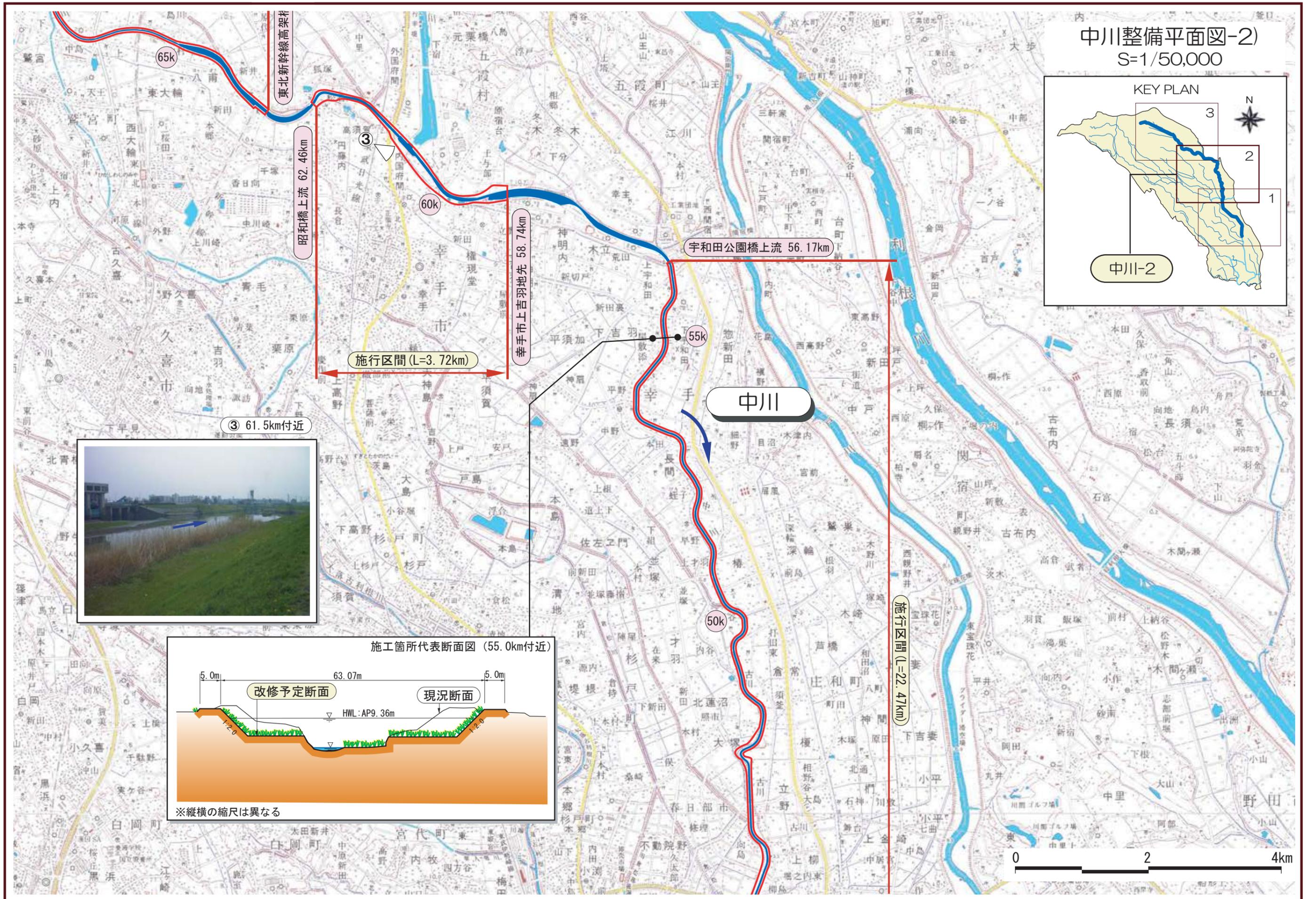


施行区間 (L=22.47km)

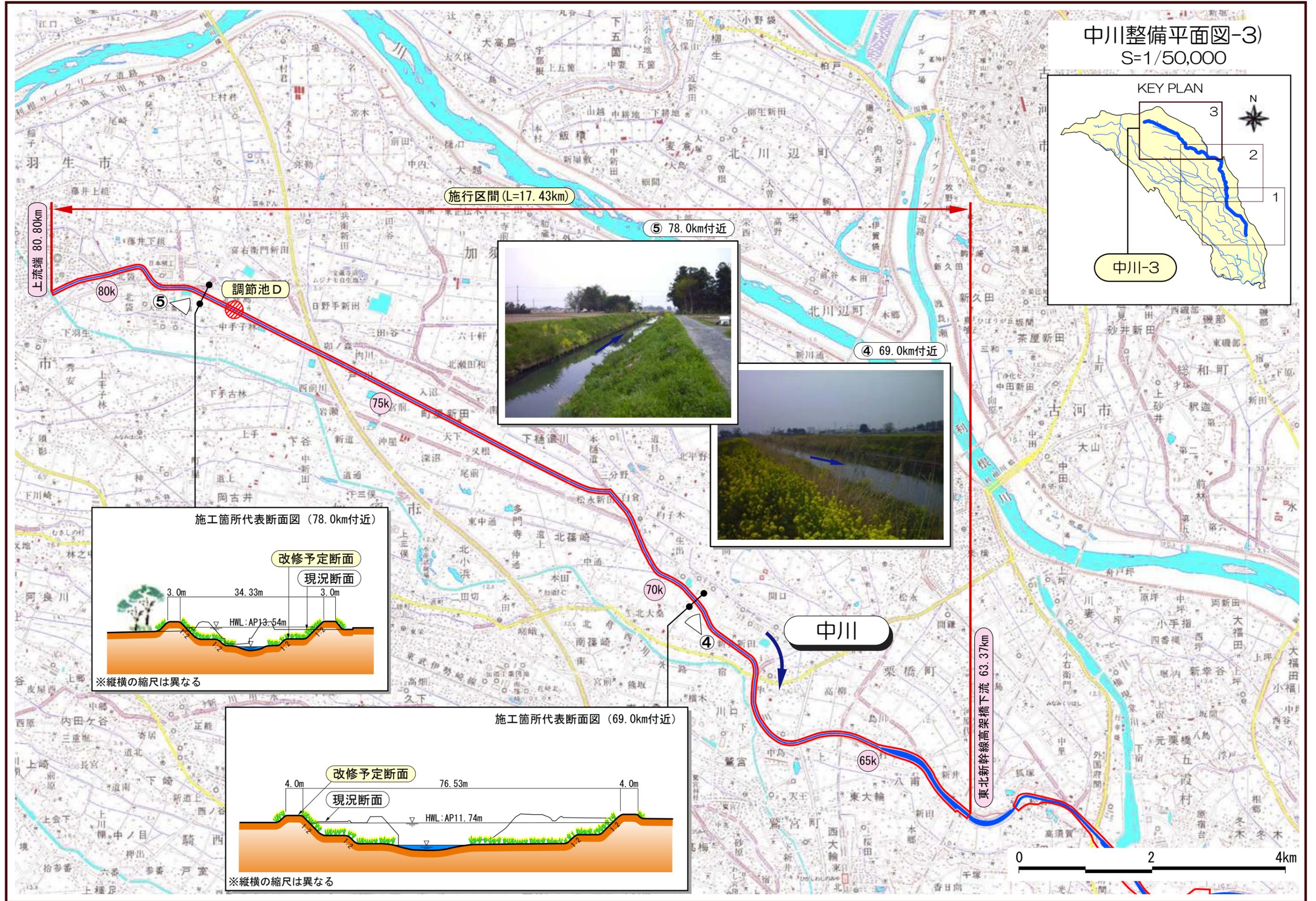
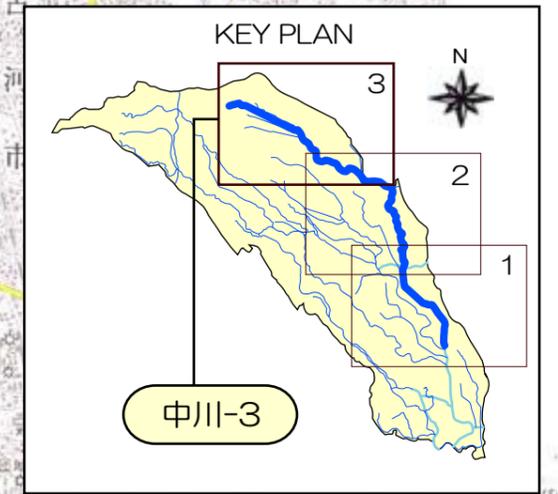


中川

県管理区間下流端 33.70km



中川整備平面図-3)
S=1/50,000



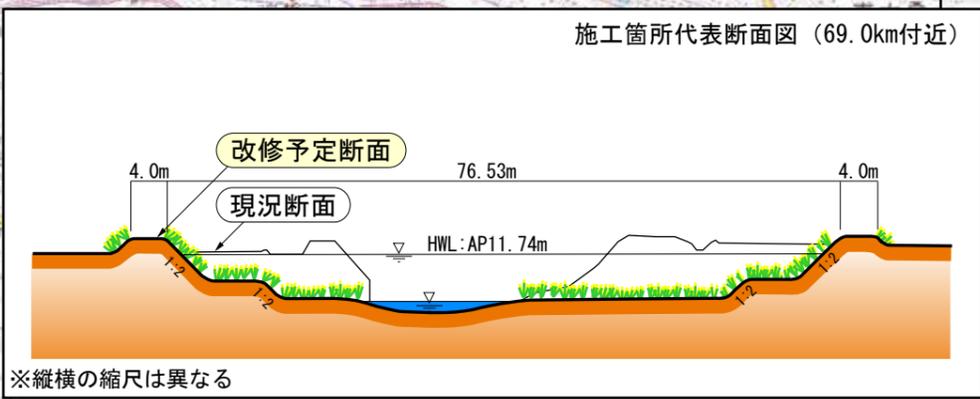
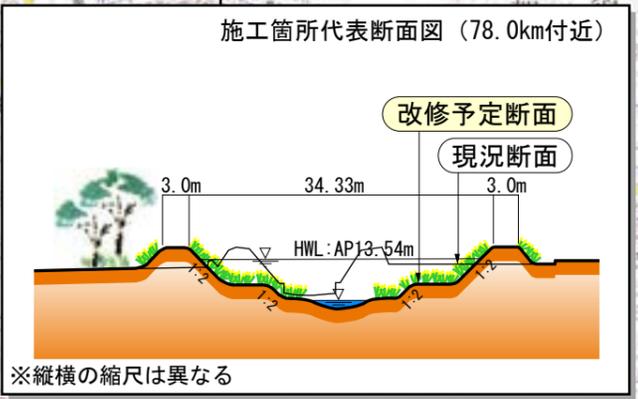
施行区間 (L=17.43km)

上流端 80.80km

⑤ 78.0km付近

④ 69.0km付近

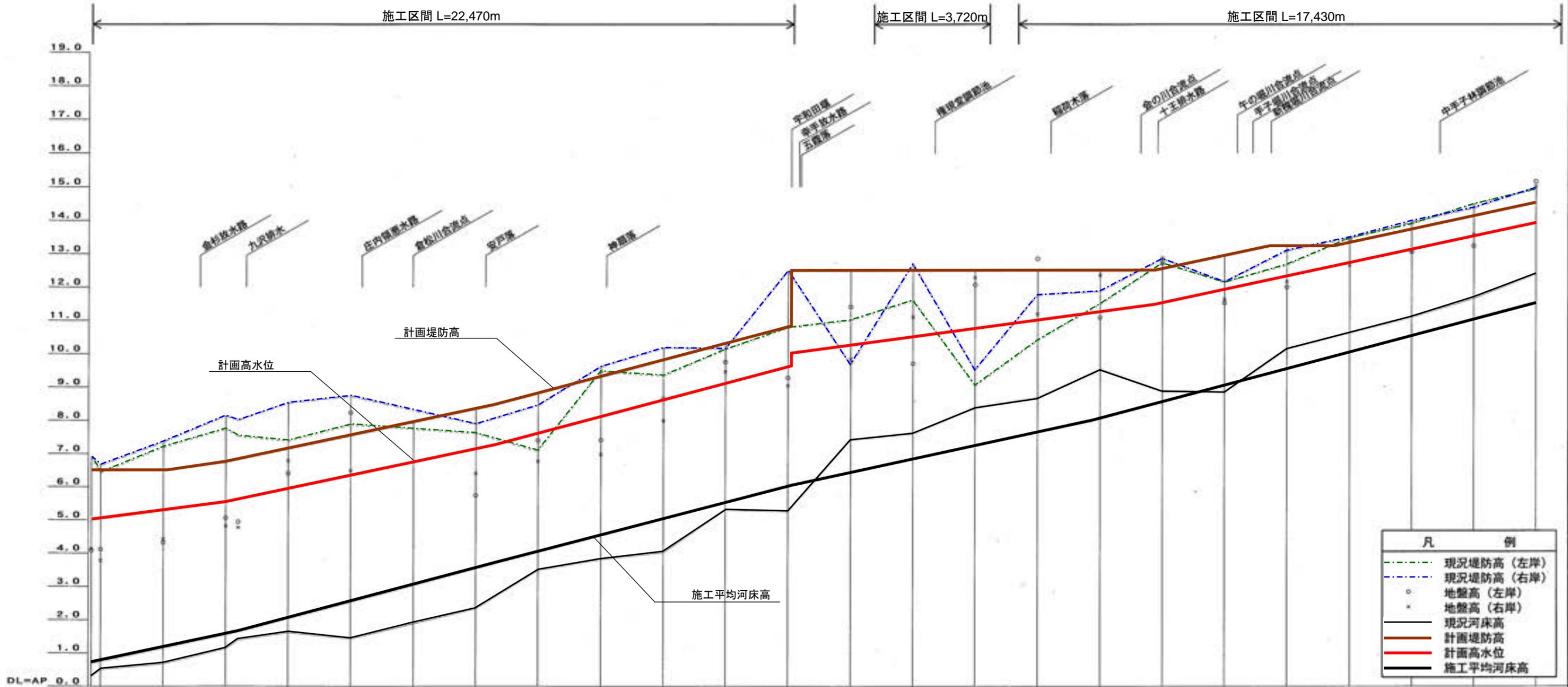
調節池D



中川

東北新幹線高架橋下流 63.37km

中川計画縦断面図



凡 例	
---○---	現況堤防高 (左岸)
---●---	現況堤防高 (右岸)
○	地盤高 (左岸)
●	地盤高 (右岸)
—	現況河床高
—	計画堤防高
—	計画高水位
—	施工平均河床高

測 距	水圍勾配		河床勾配		堤防高	高水位	施工平均河床高
	左	右	左	右			
31.700k	1/8,000	1/5,000	1/5,000	1/4,000	6.50	5.00	0.70
34.000k					6.50	5.04	0.76
35.000k					6.50	5.29	1.16
36.000k					6.74	5.54	1.56
36.400k					6.82	5.62	1.64
40.000k					7.14	5.94	2.04
42.000k					7.54	6.34	2.54
44.000k					7.94	6.74	3.04
46.000k					8.34	7.14	3.54
48.000k					8.81	7.61	4.04
50.000k					9.31	8.11	4.54
52.000k					9.81	8.61	5.04
54.000k					10.31	9.11	5.54
56.000k					10.81	9.61	6.04
58.000k					12.50	10.27	6.45
60.000k					12.50	10.52	6.84
62.000k					12.50	10.77	7.25
64.000k					12.50	11.02	7.65
65.700k					12.50	11.27	8.00
66.000k					12.54	11.54	8.56
70.000k					12.94	11.94	9.06
71.485k					13.23	12.23	9.43
72.000k					13.23	12.34	9.56
73.485k					13.23	12.64	9.93
74.000k					13.34	12.74	10.06
76.000k					13.74	13.14	10.56
78.000k					14.14	13.54	11.06
78.000k					14.54	13.94	11.56

あやせがわ

流域面積 96.58km²
 流路延長 30.766km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/3,000
 関係市町村 蓮田市、桶川市、伊奈町、上尾市、さいたま市、岩槻市、越谷市、川口市、草加市

流域および河川の概要

- 綾瀬川は、埼玉県桶川市にその源を発し、途中原市沼川、深作川、一の橋放水路を合流し、中川の国の管理区間に至る一級河川である。
- 流域は、北東部を流れる中川と南西部を流れる元荒川の自然堤防とその背後湿地が大部分を占め、標高は5m~15mと低平地域であるため、古くから洪水のたびに被害に見舞われており、その被害状況は広範囲に長時間に亘って湛水するという特徴を示している。
- 昭和57年9月の台風18号、平成3年の台風18号による洪水時には流域全体で湛水が生じ、市街地にも多大な浸水被害が生じている。

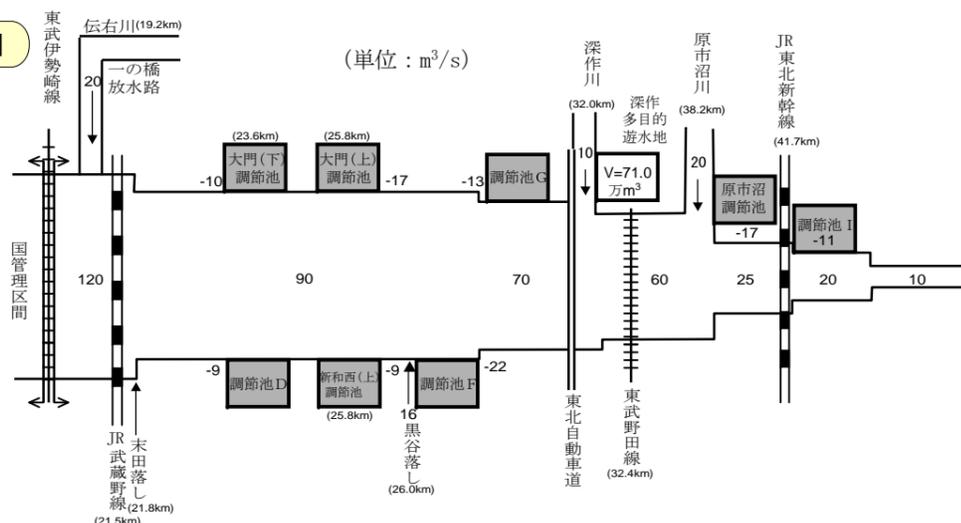
治水計画

- 綾瀬川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (曝橋下流23.25km) ~ (上流端47.97km) A
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 <整備予定施設> (大門(下)調節池) B
 (大門(上)調節池) C
 (調節池) D
 (新和西(上)調節池) E
 (調節池) F
 (調節池) G
 (原市沼調節池) H
 (調節池) I

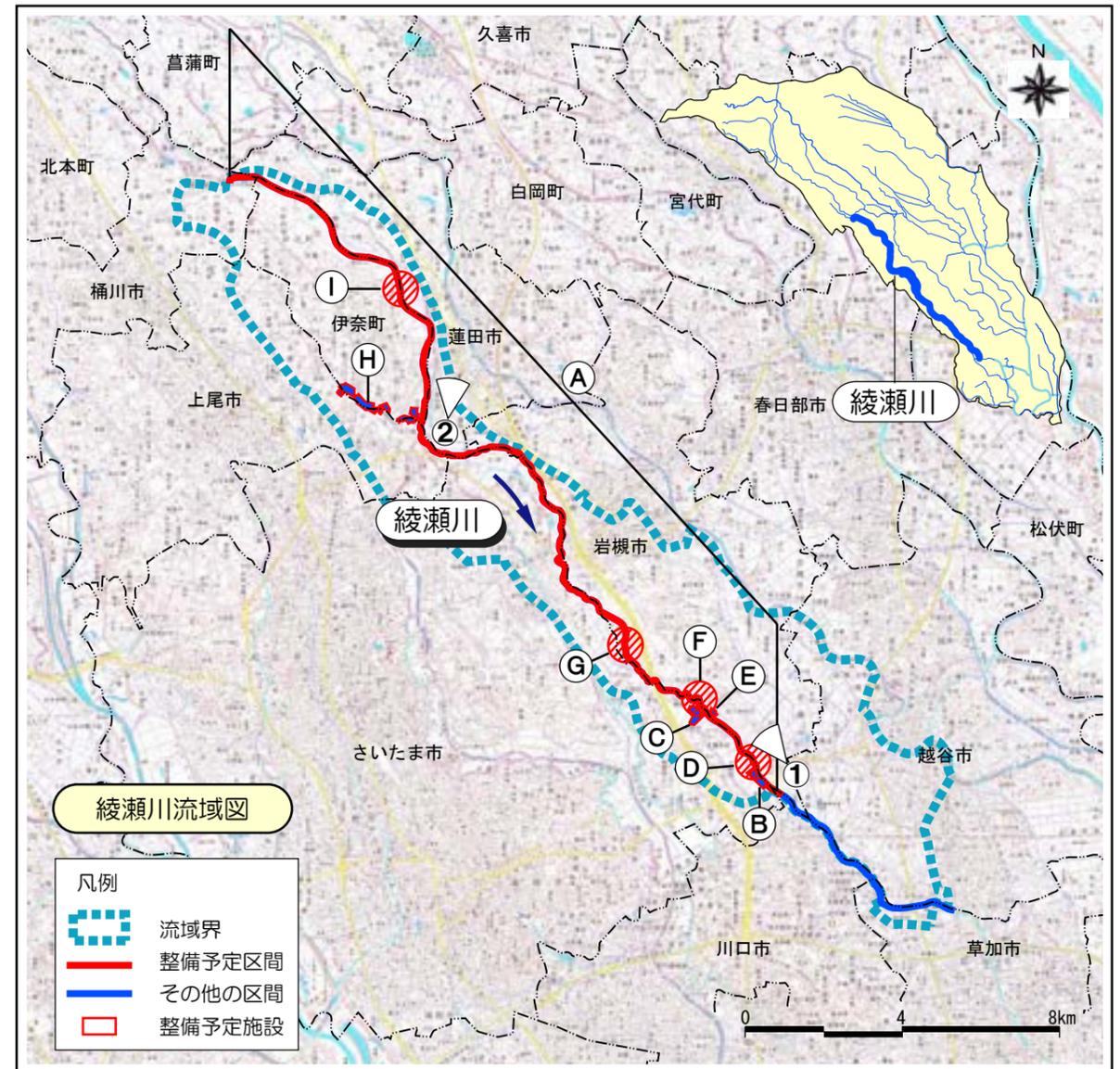
整備上の留意点

- 改修にあたっては、周辺環境との調和、動植物の生息・生育環境に配慮し、多自然型護岸など自然にやさしい水辺づくりに努めた整備を行う。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。
- 水質を改善するため、第二期水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンスⅡ)により必要な整備を実施する。

流量配分図



綾瀬川・整備計画概要



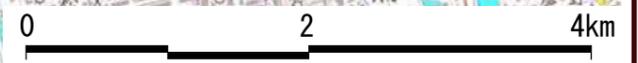
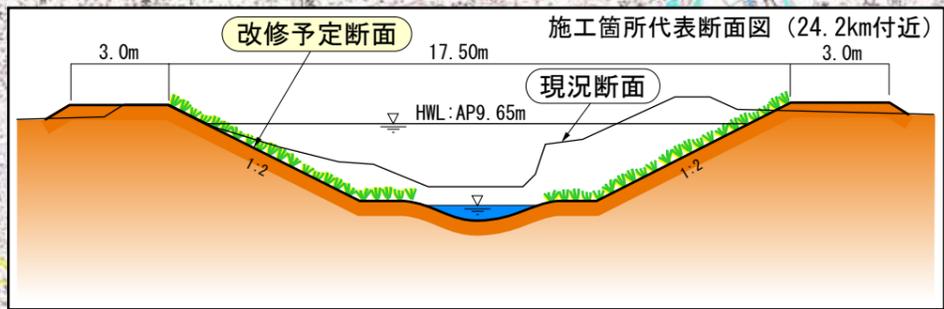
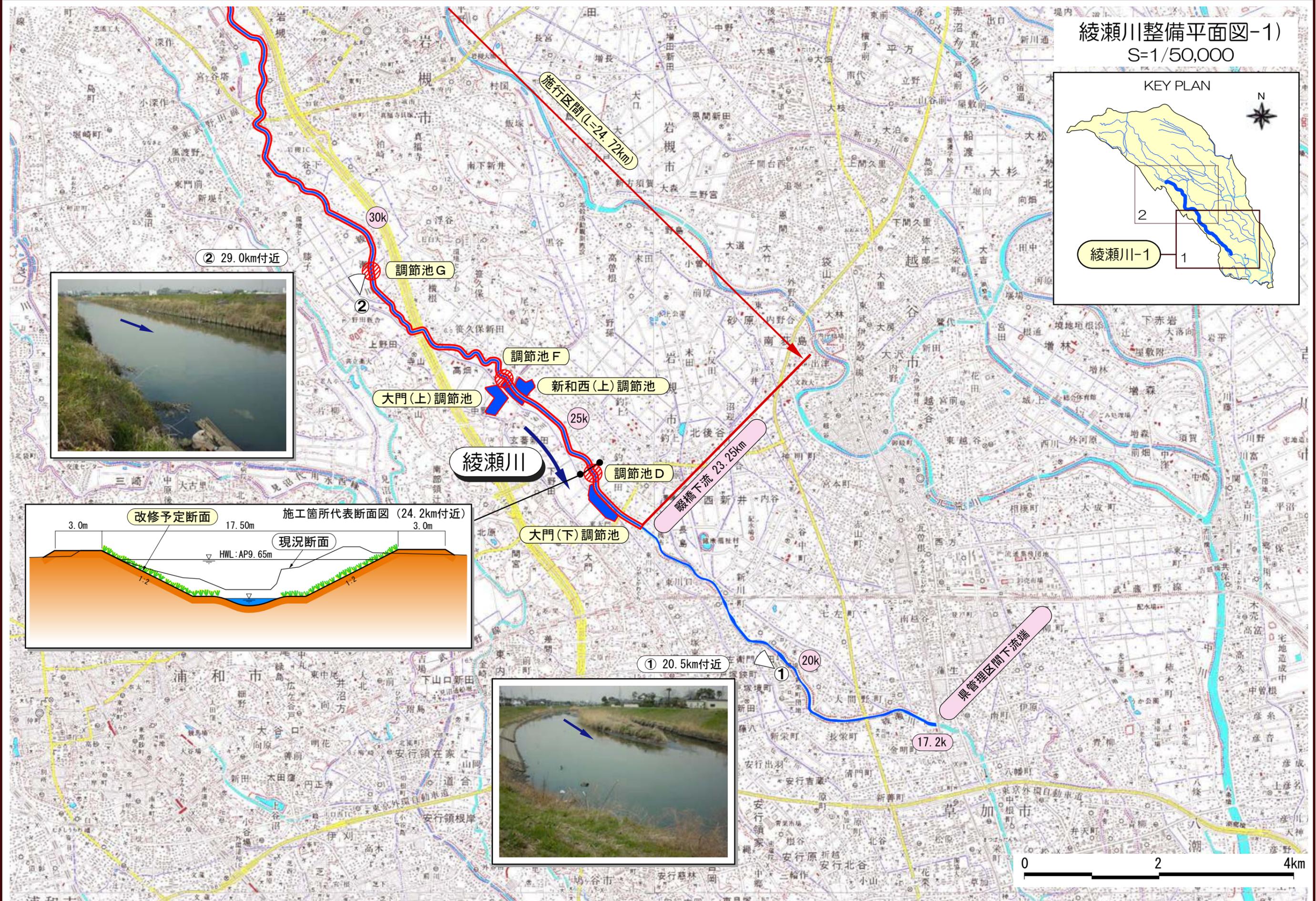
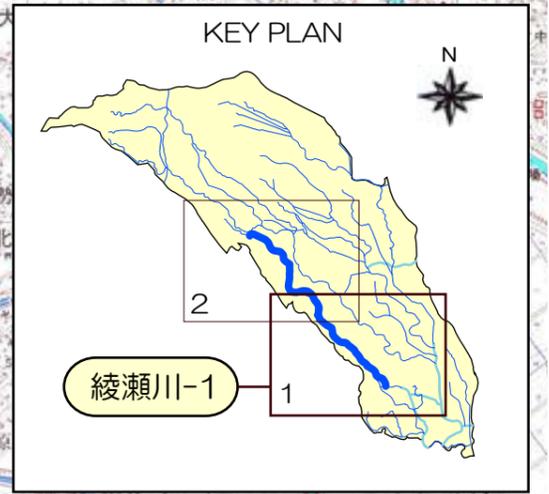
①綾瀬川22km付近



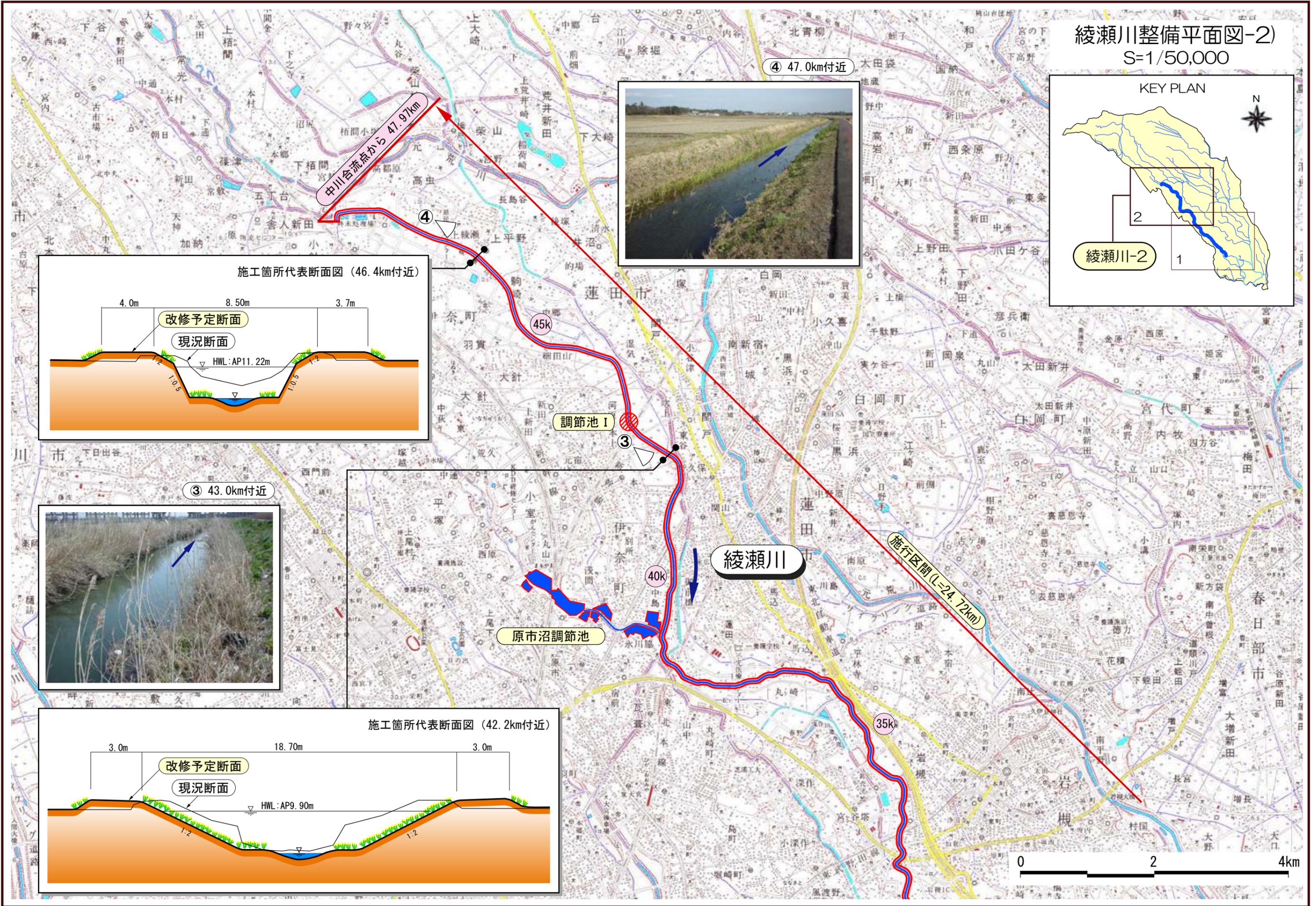
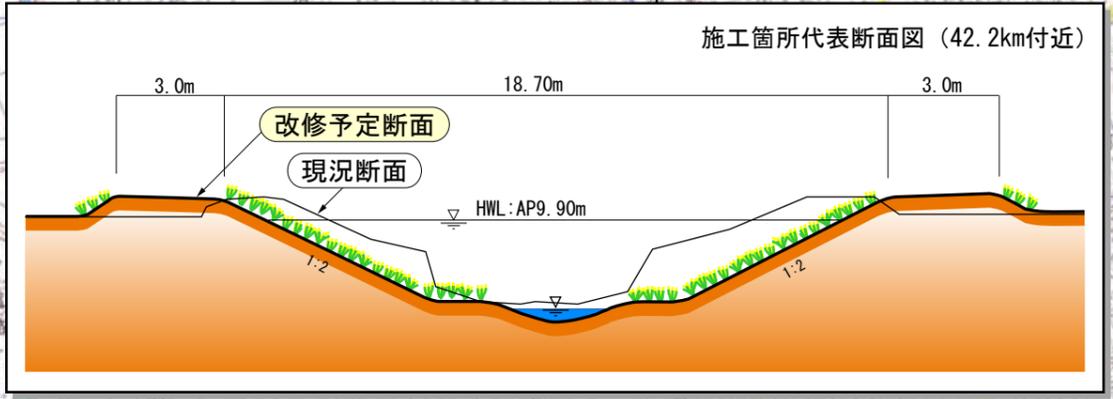
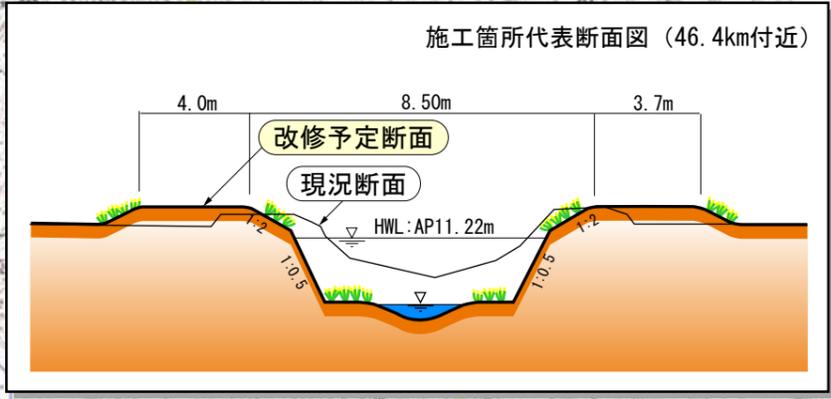
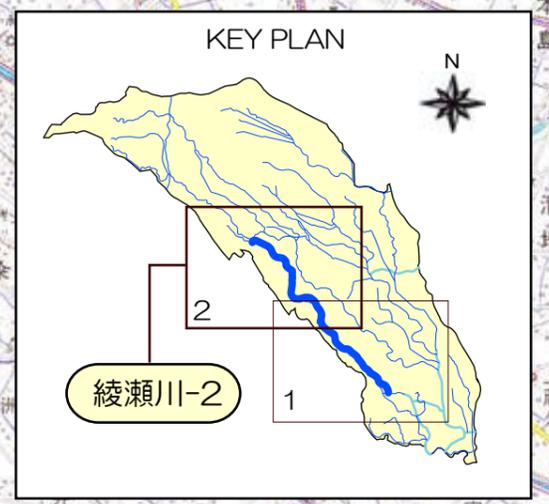
②綾瀬川38km付近



綾瀬川整備平面図-1)
S=1/50,000

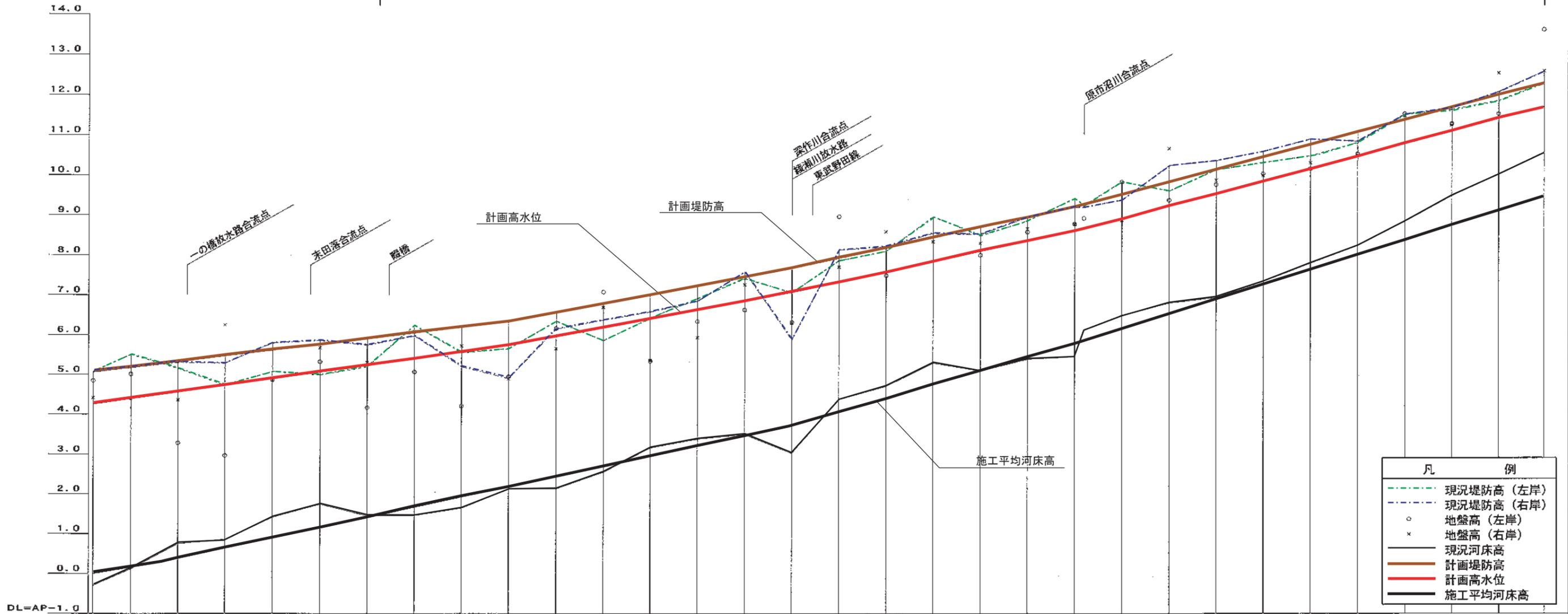


綾瀬川整備平面図-2)
S=1/50,000



綾瀬川計画縦断面図

施工区間 L=24,720m



DL=AP-1.0

凡 例	
--- (dashed green)	現況堤防高 (左岸)
--- (dashed blue)	現況堤防高 (右岸)
o	地盤高 (左岸)
x	地盤高 (右岸)
— (solid black)	現況河床高
— (solid red)	計画堤防高
— (solid black)	計画高水位
— (solid black with o)	施工平均河床高

追加距離	水面勾配		河床勾配		堤防高	高水位	施工平均河床高
	1/6,000	1/4,500	1/5,000	1/3,900			
17.200k					5.06	4.26	0.00
18.000k			1/5,000		5.18	4.40	0.16
18.618k					5.32	4.56	0.28
19.000k					5.47	4.73	0.38
20.000k					5.61	4.90	0.64
21.000k					5.75	5.06	0.89
22.000k					5.90	5.23	1.15
23.000k			1/3,900		6.04	5.40	1.41
24.000k					6.19	5.56	1.66
25.000k					6.33	5.73	1.92
26.000k					6.55	5.95	2.18
27.000k					6.77	6.17	2.43
28.000k					7.00	6.40	2.69
29.000k					7.22	6.62	2.95
30.000k					7.44	6.84	3.20
31.000k					7.66	7.06	3.46
32.000k					7.92	7.32	3.72
33.000k					8.18	7.58	4.06
34.000k					8.43	7.83	4.41
35.000k					8.69	8.09	4.75
36.000k					8.94	8.34	5.09
37.000k					9.20	8.60	5.44
38.000k					9.25	8.65	5.78
38.200k							5.85
39.000k					9.50	8.90	6.15
40.000k					9.82	9.22	6.52
41.000k					10.13	9.53	6.89
42.000k					10.44	9.84	7.26
43.000k					10.75	10.15	7.63
44.000k					11.07	10.47	8.00
45.000k					11.38	10.78	8.37
46.000k					11.69	11.09	8.74
47.000k					12.00	11.40	9.11
47.966k					12.30	11.70	9.47

けなががわ

毛長川・整備計画概要

流域面積 16.66 (11.53) km²
 流路延長 9.730km
 合流河川 綾瀬川
 現況河床勾配 1/3,000~1/1,000
 関係市町村 川口市、草加市、鳩ヶ谷市

※裸書きは支川を含んだ面積、()書きは支川を含まない面積

流域および河川の概要

- 毛長川は、埼玉県川口市にその源を発し、中居堀川、見沼代用水、辰井川を流入し、綾瀬川の国の管理区間右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、往年は水田地帯で毛長堀と称され農業用排水としての役割を果たしてきたが、近年急激な都市化が進み都市排水路と化したことにより、雨水流出機構に変化が生じ、洪水到達時間の短縮、流出量の増大がもたらされ、治水安全度が著しく低下している。

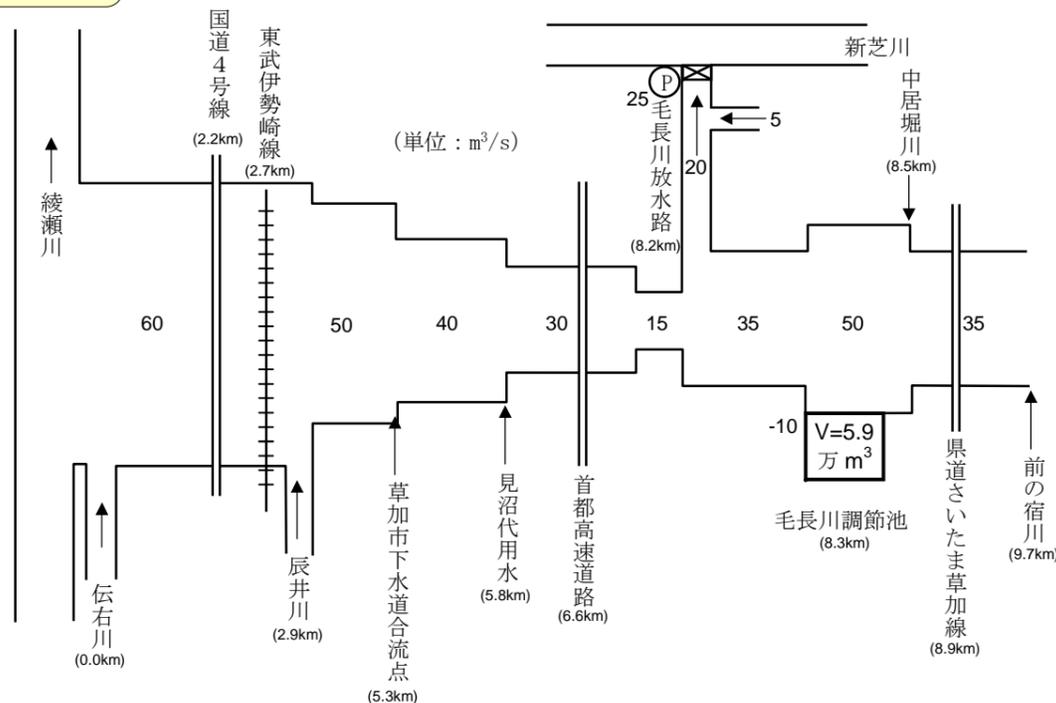
治水計画

- 既往工事として、毛長川8.2 km地点に調節池及び放水路を設け、新芝川へ機械排水する計画が策定され、昭和61年度に一期計画 (15m³/s) が完成し、平成5年度に25m³/sで完成している。これに合わせて、毛長川では下記の区間において、東京都と協議の上で、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
- <整備予定区間> (綾瀬川合流点0.00km) ~ (毛長川調節池越流堤下流端8.23km)・・・A
 (赤井橋8.62km) ~ (上流端9.73km)・・・・・・・・・B

整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 水質を改善するため、第二期水環境改善緊急行動計画 (清流ルネッサンスⅡ) により必要な整備を実施する。

流量配分図



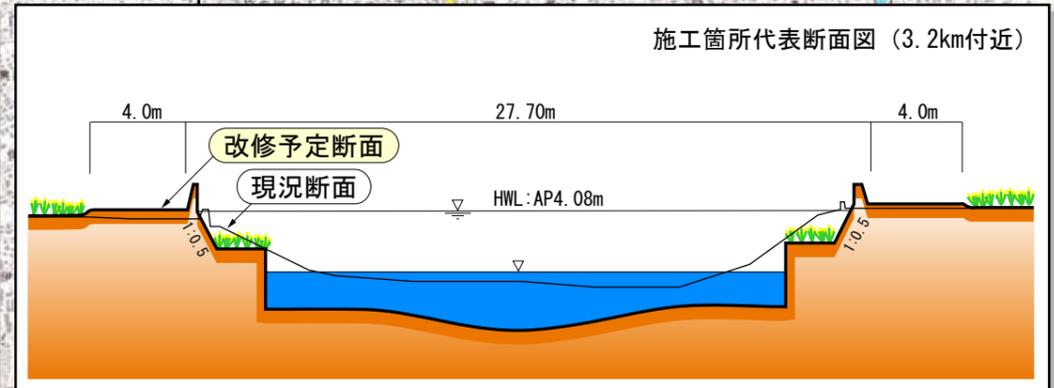
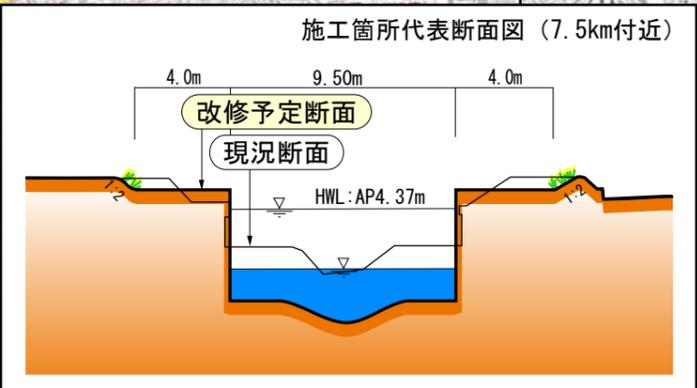
①毛長川2km付近



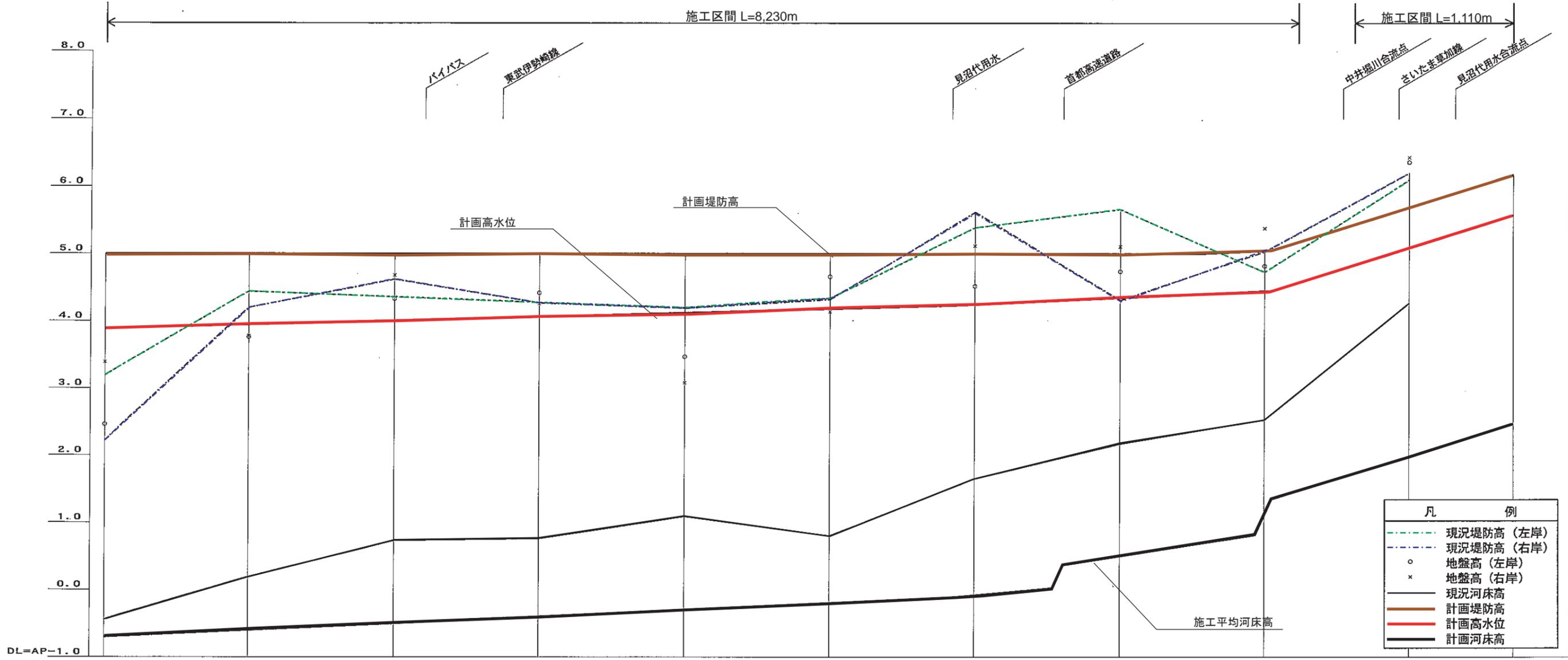
②毛長川8km付近



毛長川整備平面図
S=1/25,000



毛長川計画縦断面図



DL=AP-1.0

凡 例	
--- (dashed green)	現況堤防高 (左岸)
--- (dashed blue)	現況堤防高 (右岸)
o	地盤高 (左岸)
x	地盤高 (右岸)
— (solid black)	現況河床高
— (solid brown)	計画堤防高
— (solid red)	計画高水位
— (solid black)	計画河床高

追加距離	計画		水面		河床	
	堤防高	高水位	勾配	勾配	勾配	勾配
0.000k	5.00	3.89	1/17,000	1/17,000	1/10,000	1/10,000
1.000k	5.00	3.95				
2.000k	5.00	4.01				
3.000k	5.00	4.06				
4.000k	5.00	4.12				
5.000k	5.00	4.18				
5.840k	5.00	4.23			1/5,000	1/5,000
6.000k	5.00	4.25				
6.610k	5.00					
7.000k	5.00	4.35			1/3,000	1/3,000
7.530k	5.00					
8.000k	5.85	4.45				
9.000k	5.69	5.09			1/1,500	1/1,500
9.730k	6.17	5.57				

流域面積 5.13km²
 流路延長 5.400km
 合流河川 毛長川
 現況河床勾配 1/1,500
 関係市町村 川口市、草加市

流域および河川の概要

- 辰井川は、埼玉県川口市にその源を発し、毛長川2.9km付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、首都圏のベッドタウンとして近年急激な都市化が進み、河川改修がその速度に追いつけないこともあって、小規模の降雨時でも流域内の各所に湛水被害が生じ、その対策が渴望されている現状である。

治水計画

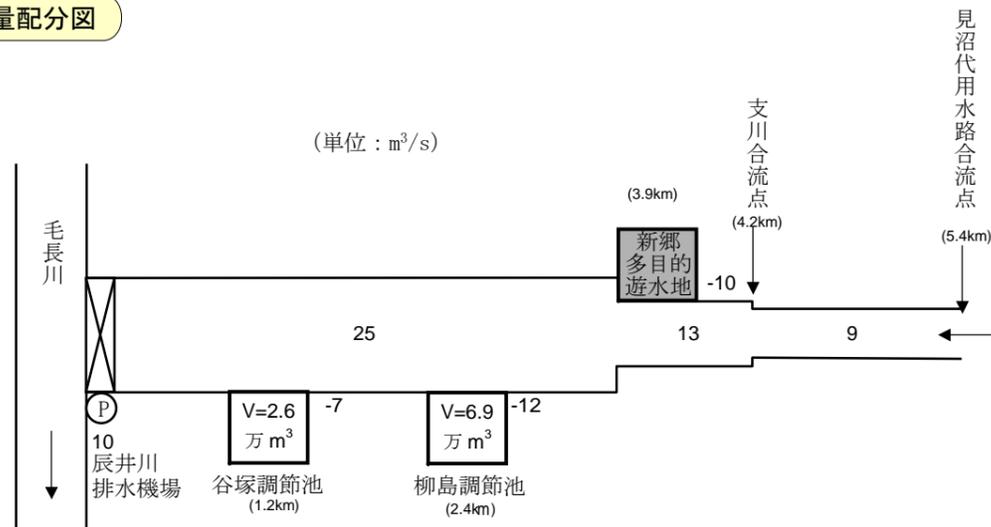
- 辰井川では、毛長川合流点～柳島調節池（毛長川合流点から2.4km）間は河川激甚災害対策特別緊急事業で、柳島調節池（毛長川合流点から2.4km）～新郷多目的遊水地（毛長川合流点から3.9km）間は都市河川緊急整備事業で整備されている。これに合わせて、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
- ＜整備予定区間＞（峯辰井橋上流3.90km）～（上流端5.40km）……………A
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
- ＜整備予定施設＞（新郷多目的遊水地）……………B



整備上の留意点

- 調節池の整備にあたっては、広大なオープンスペースを活かし、川口市の計画している「（仮称）新郷東部公園」の整備とあわせて、自然環境の再生や人々に安全と潤いのある生活環境を提供するなど、さまざまな機能を持たせ活用する。

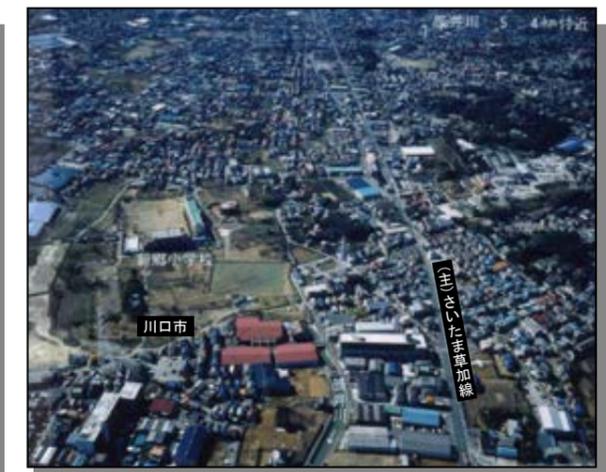
流量配分図



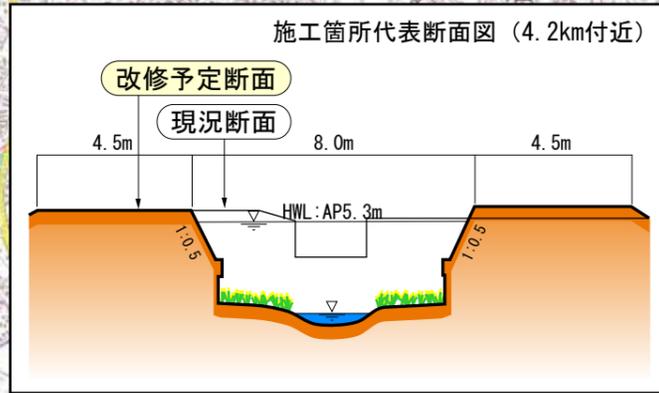
①辰井川2km付近



②辰井川4km付近



辰井川整備平面図
S=1/25,000



施行区間 (L=1.50km)

上流端 5.40km

4k

峯辰井橋上流 3.90km

新郷多目的遊水池

辰井川

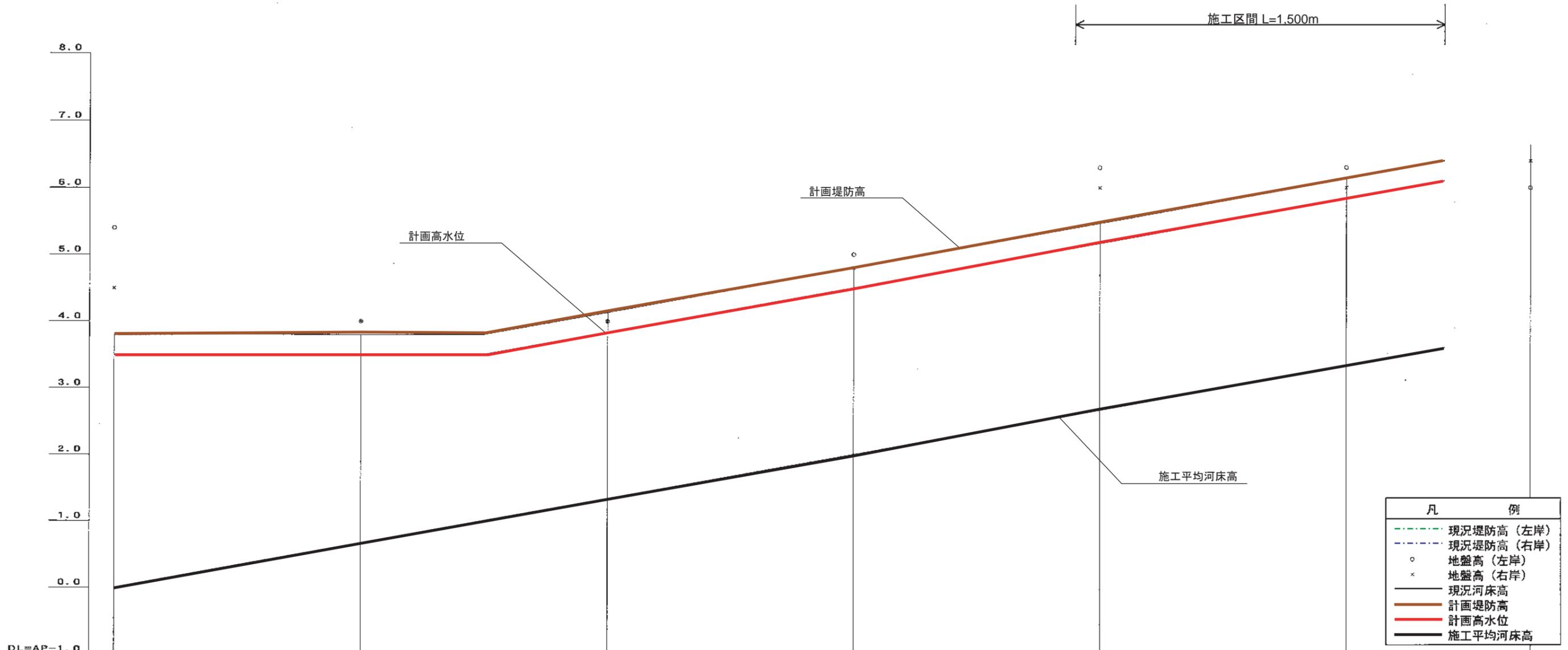
① 1.0km付近



毛長川合流点



辰井川計画縦断面図



計 画	水面勾配	Level		1/1,500					
	河床勾配			1/1,500					
計 算	堤防高	3.80	3.80	3.80	4.13	4.80	5.47	6.13	6.83
	高水位	3.50	3.50	3.50	3.83	4.50	5.17	5.83	6.33
	施工平均河床高	0.00	0.67		1.33	2.00	2.67	3.33	3.83
	追加距離	0.000k	1.000k	1.500k	2.000k	3.000k	4.000k	5.000k	5.750k

でんうがわ

伝右川・整備計画概要

流域面積 20.04km²
 流路延長 13.120km
 合流河川 綾瀬川
 現況河床勾配 1/5,000
 関係市町村 さいたま市、川口市、草加市

流域および河川の概要

- ・伝右川は、埼玉県さいたま市に源を発し、草加市の市街地を流下しながら、毛長川・綾瀬川 合流点に合流している一級河川である。
- ・流域は、大部分が往年の荒川、利根川等の氾濫で形成された沖積平野で、わずかに両側に大宮台地の一端を覗かせている。流域の勾配は極めて緩く、約1/5,000程度である。以前は全域に亘り水田であったが、現在は大部分が市街地になっており、年々、進展する都市化の現象は流出係数の増大に加え、昭和40年代後半まで続いた地下水の汲み上げによる地盤沈下等により、流域の治水安全度を大幅に低下させてきている。

治水計画

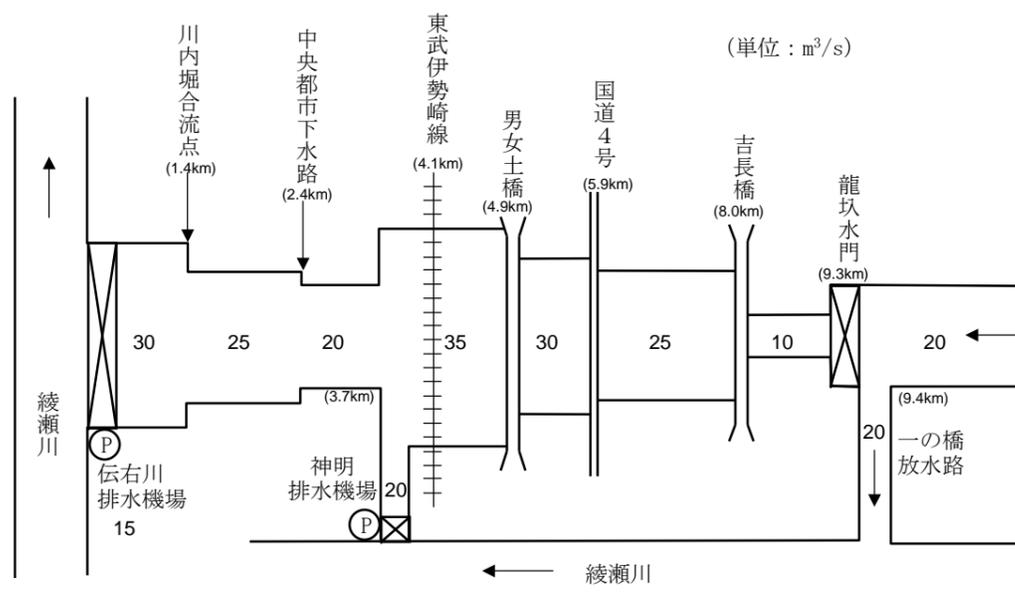
- ・伝右川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、築堤により河積の拡大を図る。
 - <整備予定区間> (草加六丁目橋下流3.78km) ~ (草加六丁目橋3.88km) A
 (草加市新栄町地先私道人道橋下流8.37km) ~ (草加市新栄町地先私道人道橋下流8.43km) B
 (伝右橋上流9.10km) ~ (伝右橋上流9.15km) C
- ・また、神明排水機場を10m³/sから20m³/sに増強する。
 - <整備予定施設> (神明排水機場：20m³/sに増強) D



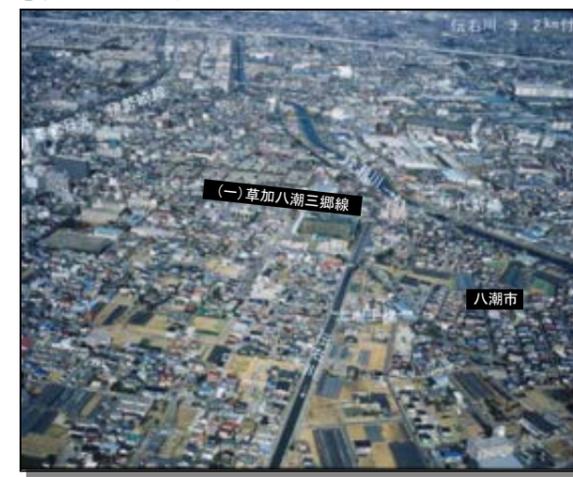
整備上の留意点

- ・護岸等の整備にあたっては、周辺と調和のとれた水辺づくりに努める。
- ・水質を改善するため、第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）により必要な整備を実施する。

流量配分図



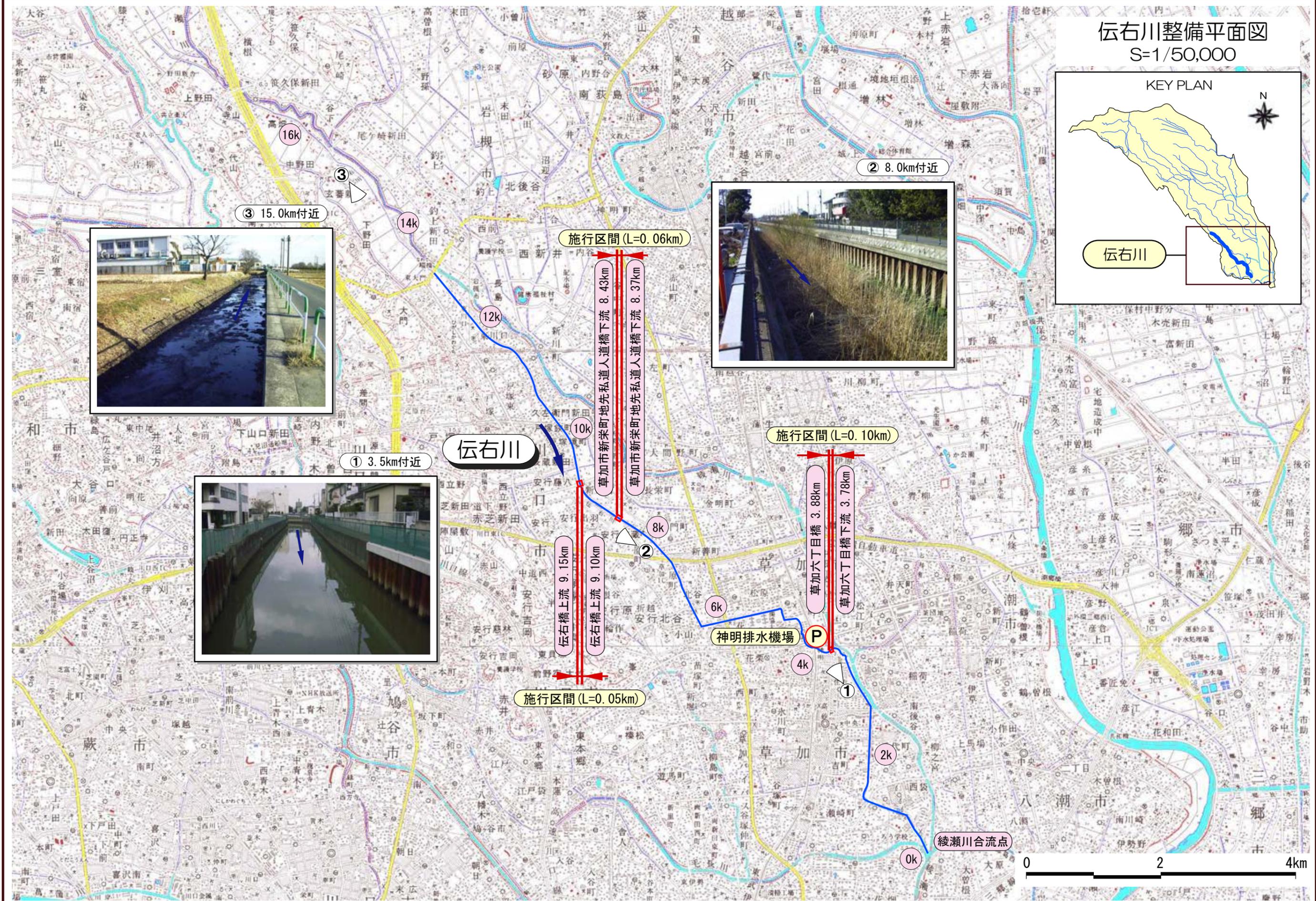
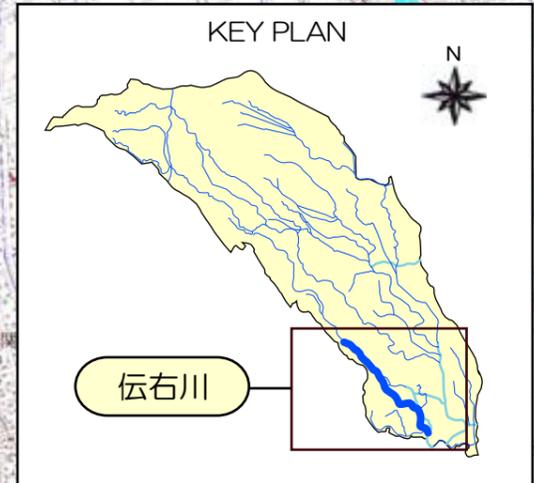
①伝右川2km付近



②伝右川13km付近



伝右川整備平面図
S=1/50,000



③ 15.0km付近

② 8.0km付近

① 3.5km付近

施行区間 (L=0.06km)

施行区間 (L=0.10km)

施行区間 (L=0.05km)

草加市新栄町地先私道人道橋下流 8.43km

草加市新栄町地先私道人道橋下流 8.37km

伝右橋上流 9.15km

伝右橋上流 9.10km

草加六丁目橋 3.88km

草加六丁目橋下流 3.78km

伝右川

神明排水機場

綾瀬川合流点

0 2 4km

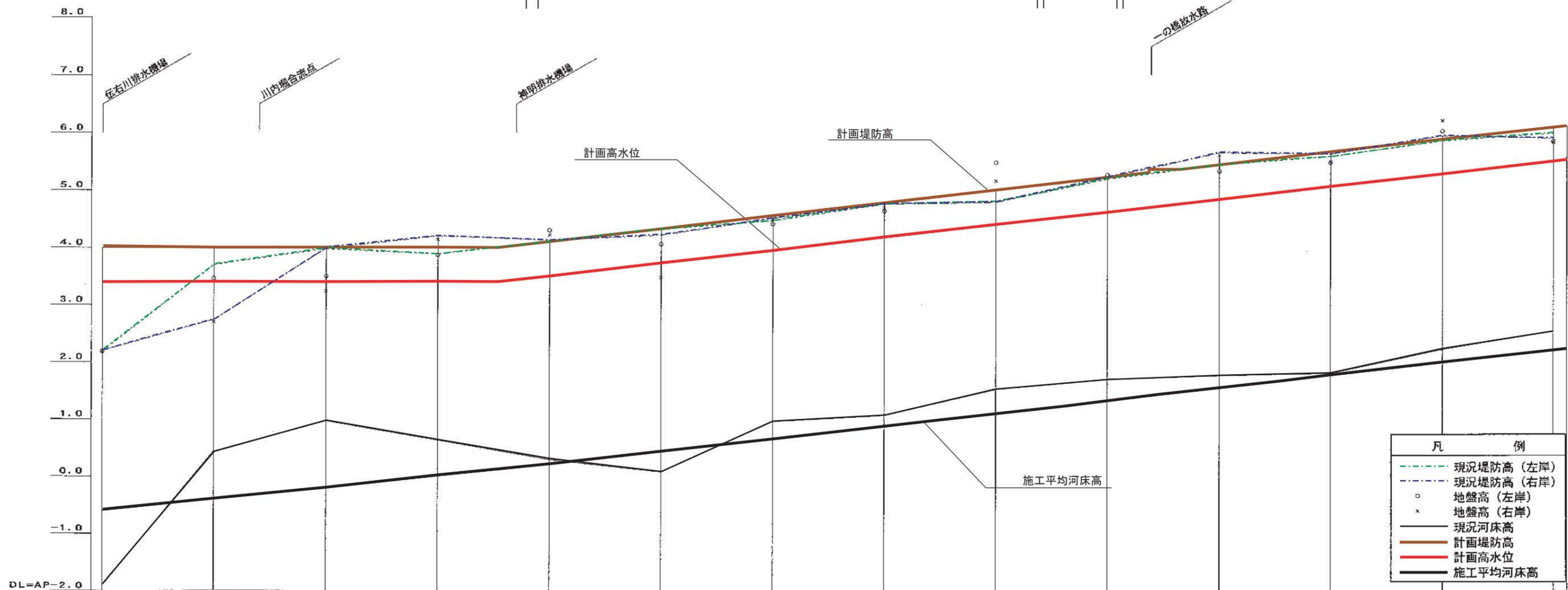
伝右川計画縦断面図

施工区間 L=100m

施工区間 L=60m

施工区間 L=50m

一の橋放水路



追加距離	水面勾配		河床勾配		堤防高	高水位	施工平均河床高
	Level	1/4,500	1/5,000	1/4,500			
0.000k					4.00	3.40	-0.80
1.000k					4.00	3.40	-0.40
2.000k					4.00	3.40	-0.20
3.000k					4.00	3.40	0.00
3.520k					4.00	3.40	0.14
3.700k					4.00	3.40	0.14
4.000k					4.11	3.51	0.21
5.000k					4.33	3.73	0.43
6.000k					4.55	3.95	0.65
7.000k					4.77	4.17	0.87
8.000k					5.00	4.40	1.10
9.000k					5.22	4.62	1.32
9.370k					5.30 (5.36)		
9.620k					5.36		
10.000k					5.44	4.84	1.54
11.000k					5.66	5.06	1.76
12.000k					5.89	5.29	1.99
13.000k					6.11	5.51	2.21
13.120k					6.13	5.53	2.23

ふるあやせがわ

古綾瀬川・整備計画概要

流域面積 8.87km²
 流路延長 5.400km
 合流河川 綾瀬川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 越谷市、草加市

流域および河川の概要

- 古綾瀬川は、埼玉県越谷市にその源を発し、綾瀬川の国の管理区間左岸に合流する一級河川である。
- 流域は、下流部の草加市がほとんど宅地化され、上流部の越谷市には水田が残っているが、都市計画においては現況の市街地を網羅するように市街化区域が設定されている。

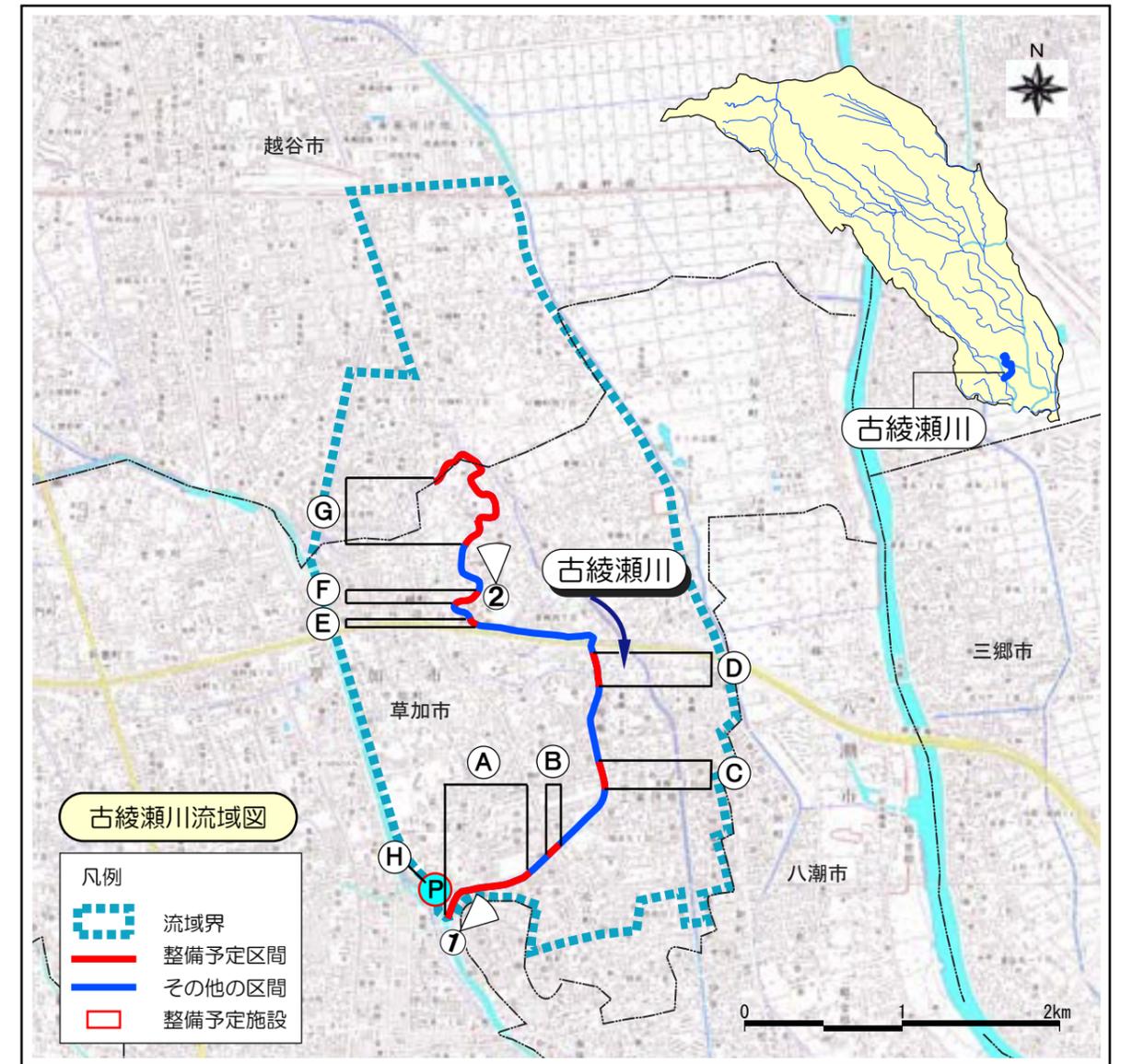
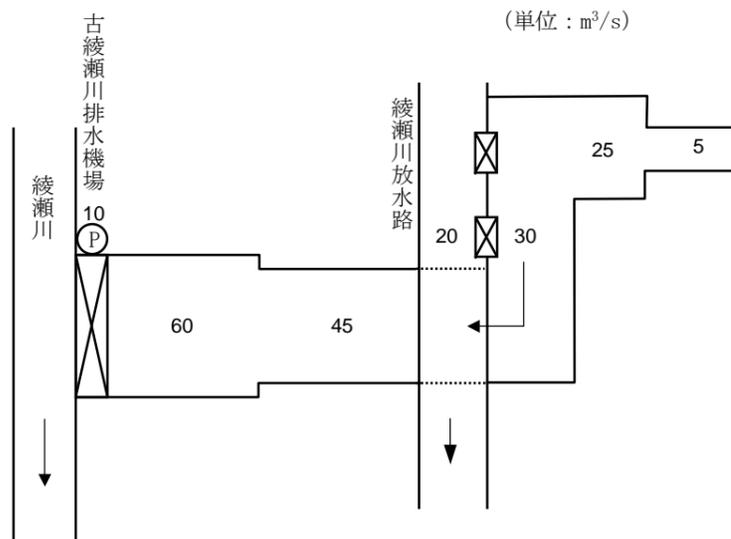
治水計画

- 古綾瀬川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 - <整備予定区間> (綾瀬川合流点0.00km) ~ (草加市松江町地先0.60km) A
 - (松江新橋下流0.80km) ~ (松江新橋上流0.90km) B
 - (弁天橋下流1.40km) ~ (弁天橋上流1.50km) C
 - (越戸橋下流2.08km) ~ (綾瀬川放水路伏越2.30km) D
 - (草加橋下流3.50km) ~ (草加橋上流3.55km) E
 - (古川橋下流3.75km) ~ (古川橋上流3.85km) F
 - (草加市八幡町地先4.34km) ~ (草加市八幡町地先4.50km) G
- また、綾瀬川合流点に古綾瀬川排水機場を整備する。
 - <整備予定施設> (古綾瀬川排水機場：10m³/s) H

整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 水質を改善するため、第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）により必要な整備を実施する。

流量配分図



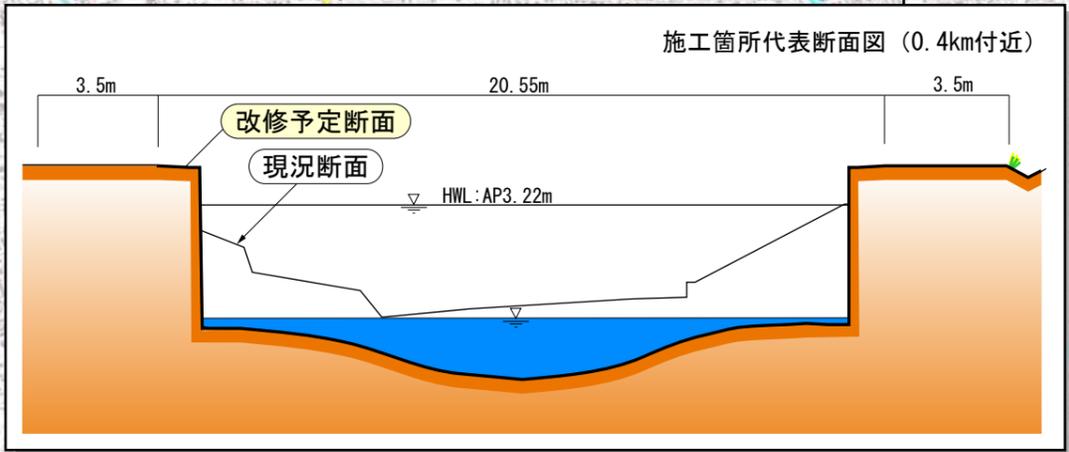
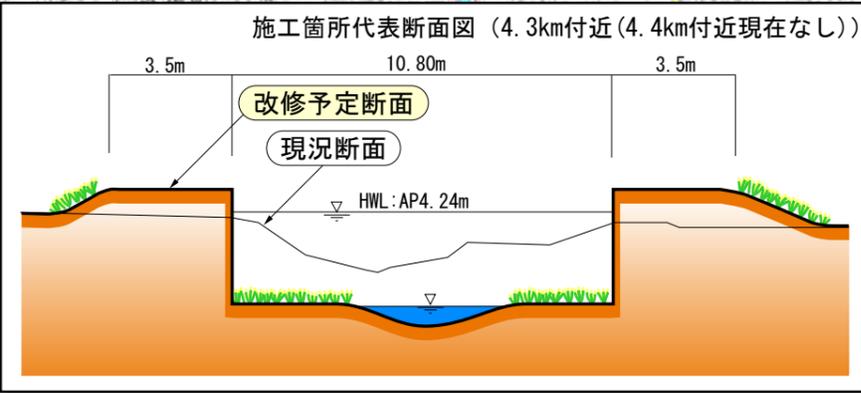
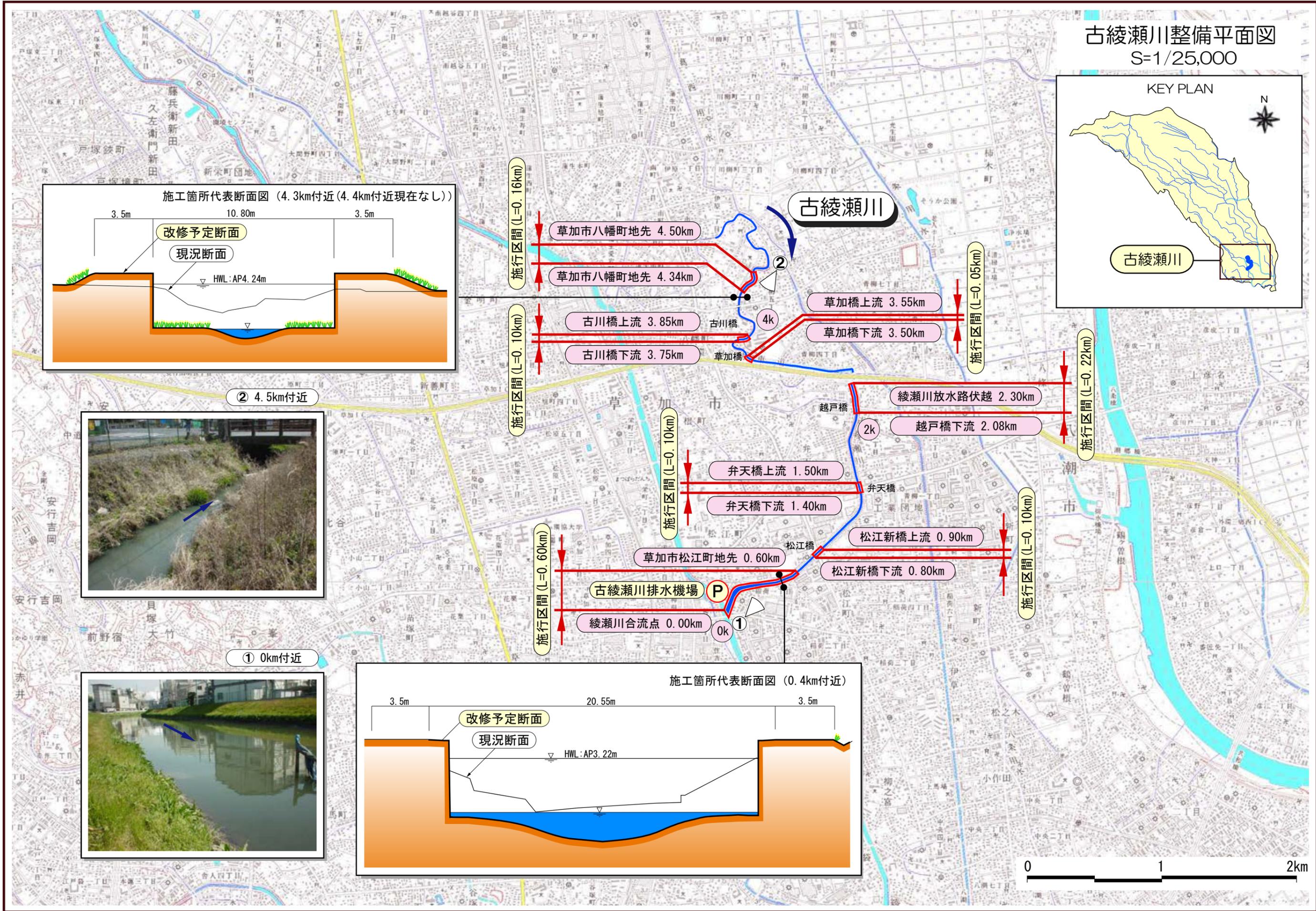
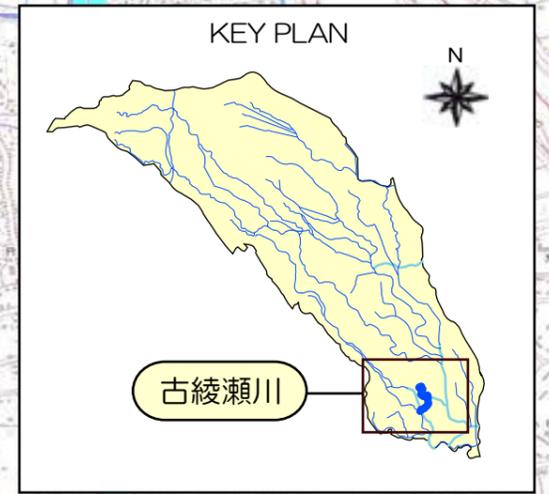
①古綾瀬川0km付近



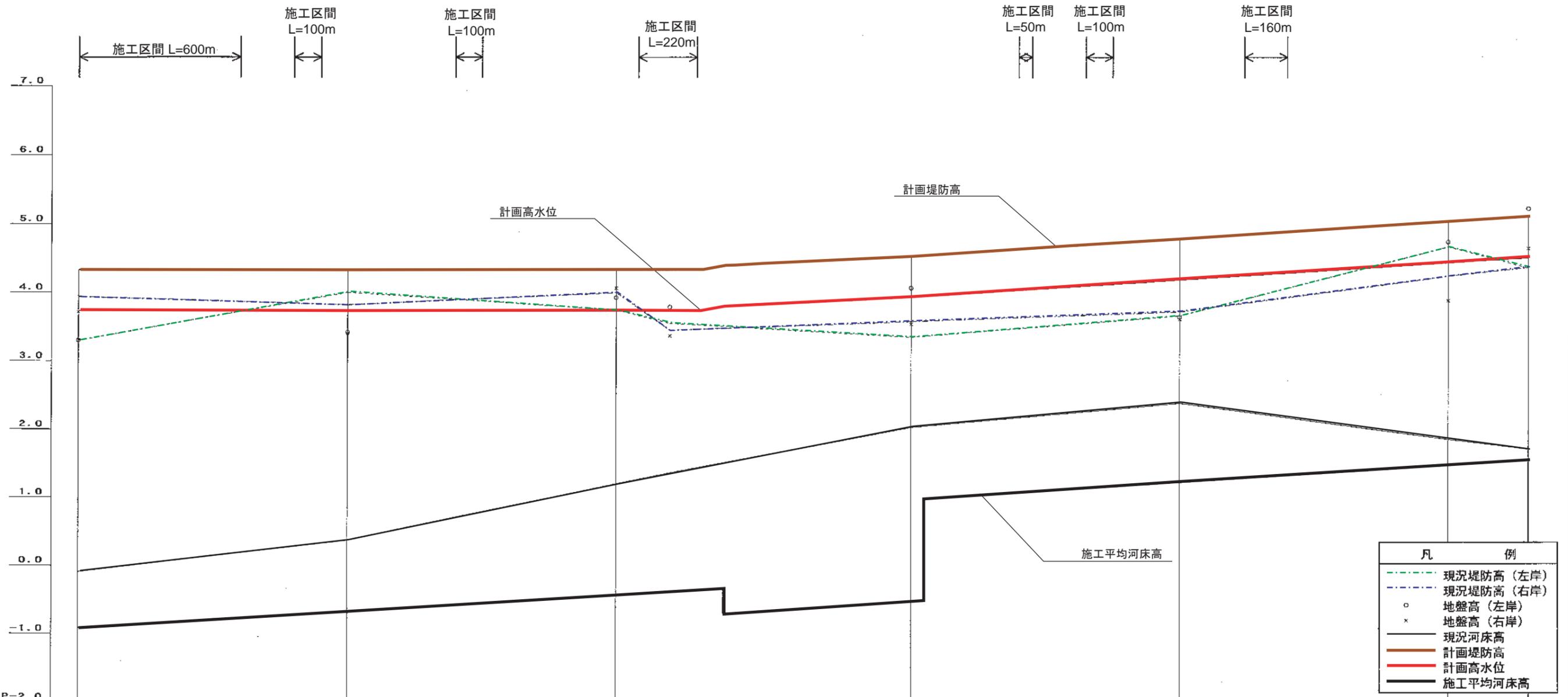
②古綾瀬川4km付近



古綾瀬川整備平面図
S=1/25,000



古綾瀬川計画縦断面図



計画	水面勾配	Level					1/4,900		1/4,000		
	河床勾配	1/4,000									
計	堤防高	4.33	4.33	4.33	4.33	4.40	4.54	4.55	4.79	5.04	5.11
	高水位	3.73	3.73	3.73	3.73	3.80	3.94	3.95	4.19	4.44	4.51
	施工平均河床高	-0.92	-0.67	-0.42	-0.37	-0.34 -0.70	-0.53	-0.52 (0.98)	1.22	1.47	1.55
	追加距離	0.000k	1.000k	2.000k	2.200k	2.400k	3.100k 3.150k	4.100k	5.100k	5.400k	†

おおばがわ

大場川・整備計画概要

流域面積 40.17 (31.30) km²
 流路延長 16.800km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/7,500
 関係市町村 吉川市、八潮市、三郷市

※裸書きは支川を含んだ面積、()書きは支川を含まない面積

流域および河川の概要

- 大場川は、首都圏の市街地を緩流する一級河川中川の支川である。埼玉県吉川市にその源を発し、途中右岸から西大場川、左岸から東大場川を合流させ、常磐自動車道及び JR 武蔵野線を横断し南下して第二大場川と合流し三郷放水路を伏越する。さらに、流路は南下したのち、東京都葛飾区と県境の近くで流向を変え、中川に合流する一級河川である。
- この流域は江戸川右岸堤と中川左岸の堤防に囲まれた、不規則な長方形を成しており、地勢勾配が 1 / 7,500 程度の緩勾配であることや、地盤沈下が進行したことなどから、小降雨でもしばしば浸水被害が生じている。

治水計画

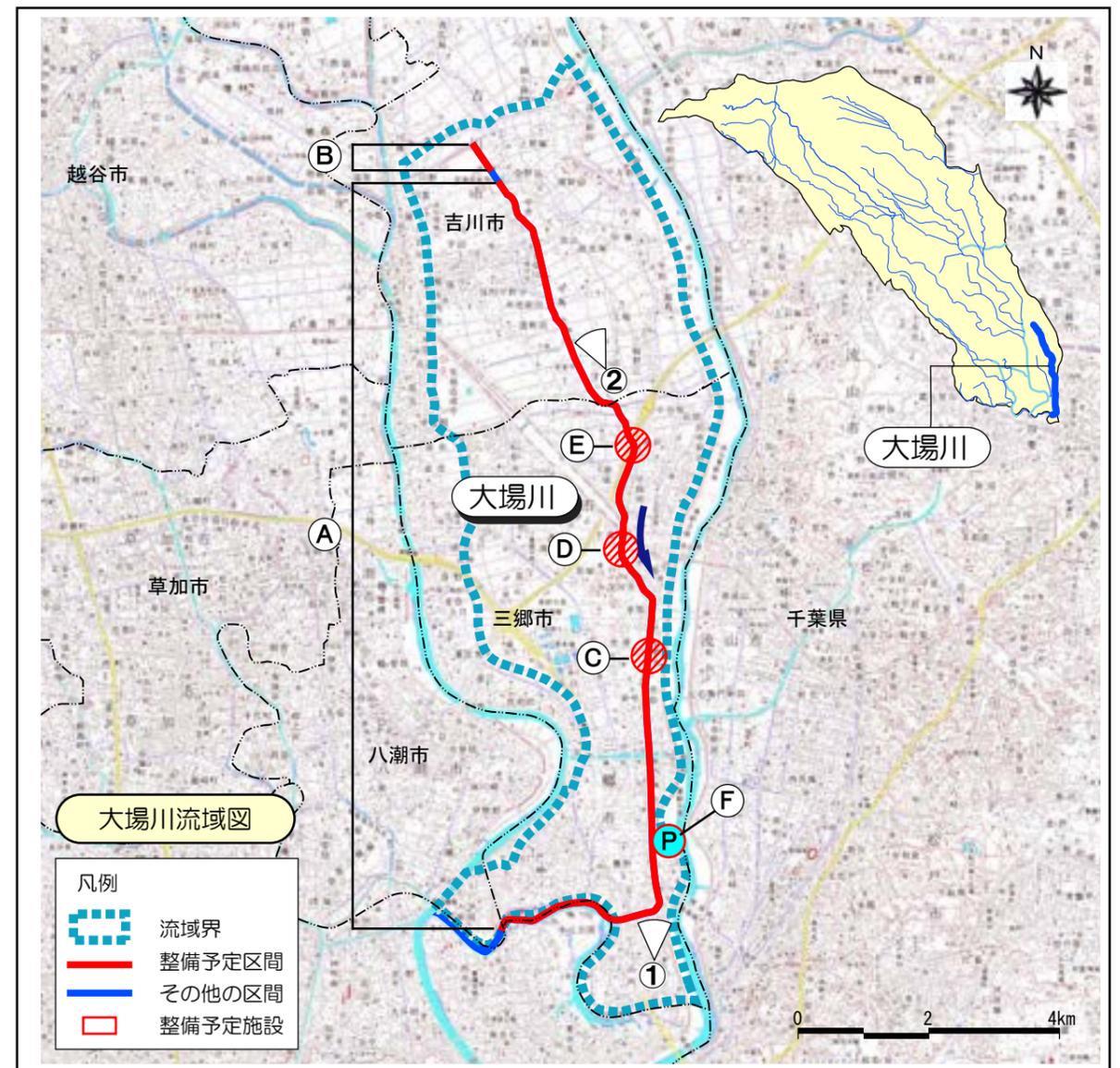
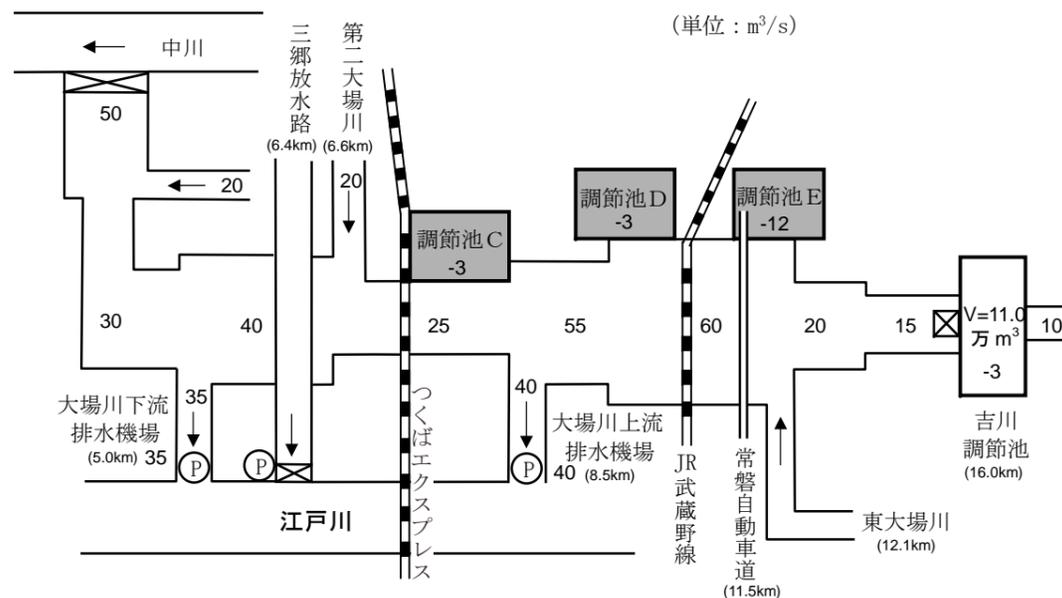
- 大場川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、河道法線を基本として、河床を下げるとともに、築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (葛三橋下流1.50km) ~ (吉川調節池越流堤下流16.00km) A
 (吉川調節池越流堤上流16.20km) ~ (上流端16.80km) B
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 <整備予定施設> (調節池) C
 (調節池) D
 (調節池) E
 (大場川下流排水機場：35m³/sに増強) F



整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。

流量配分図

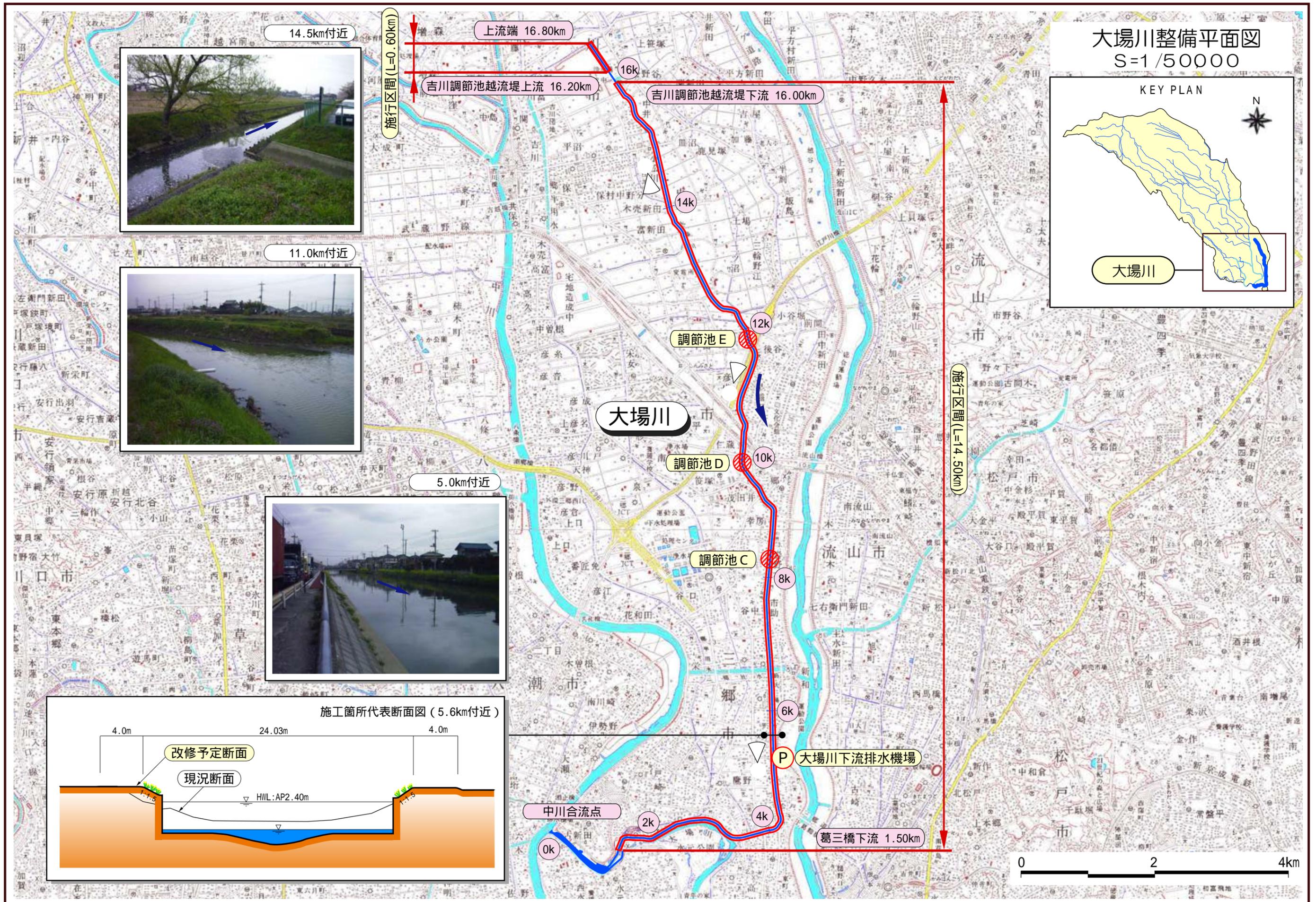


①大場川4km付近

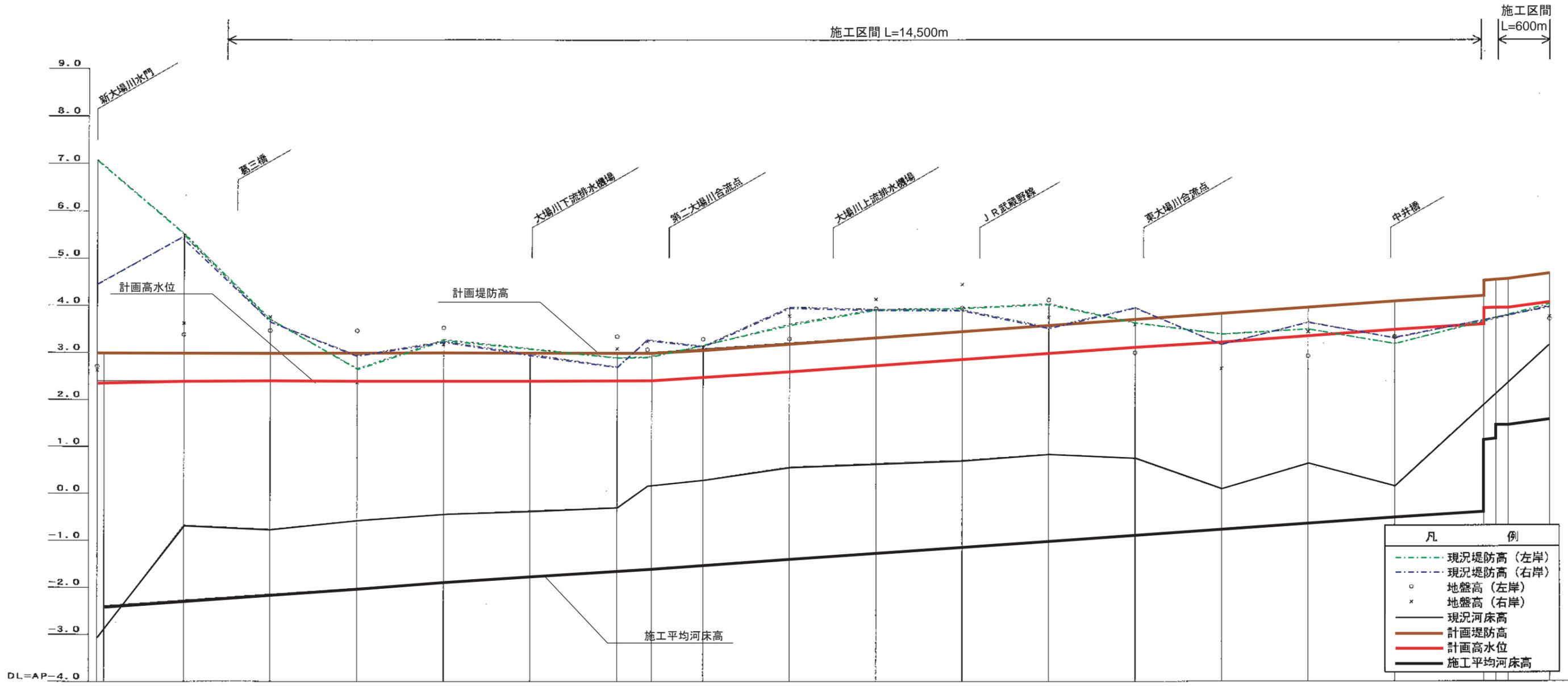


②大場川12km付近





大場川計画縦断面図



追加距離	Level															1/4,000					
	0.000k	1.000k	2.000k	3.000k	4.000k	5.000k	6.000k	6.400k	7.000k	8.000k	9.000k	10.000k	11.000k	12.000k	13.000k	14.000k	15.000k	16.037k	16.178k	16.320k	16.800k
水面勾配																					
河床勾配																					
堤防高	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.08	3.20	3.33	3.45	3.58	3.70	3.83	3.95	4.08	4.21	4.53	4.55	4.67
高水位	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.48	2.60	2.73	2.85	2.98	3.10	3.23	3.35	3.48	3.61	3.83	3.95	4.07
施工平均河床高	-2.39	-2.28	-2.15	-2.03	-1.90	-1.78	-1.65	-1.60	-1.53	-1.40	-1.28	-1.15	-1.03	-0.90	-0.78	-0.65	-0.53	1.13	1.43	1.45	1.57

だいにおおばがわ

流域面積 8.87km²
 流路延長 5.728km
 合流河川 大場川
 現況河床勾配 1/5,000
 関係市町村 吉川市、三郷市

流域および河川の概要

- ・第二大場川は、埼玉県吉川市にその源を発し、国の管理区間を経て大場川6.6km付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、江戸川右岸堤と中川左岸の自然堤防に囲まれた、不規則な長方形を成しており、地勢勾配が1/3,500程度の緩勾配であることや、地盤沈下が進行したなどから、小降雨でもしばしば浸水被害が生じている。

治水計画

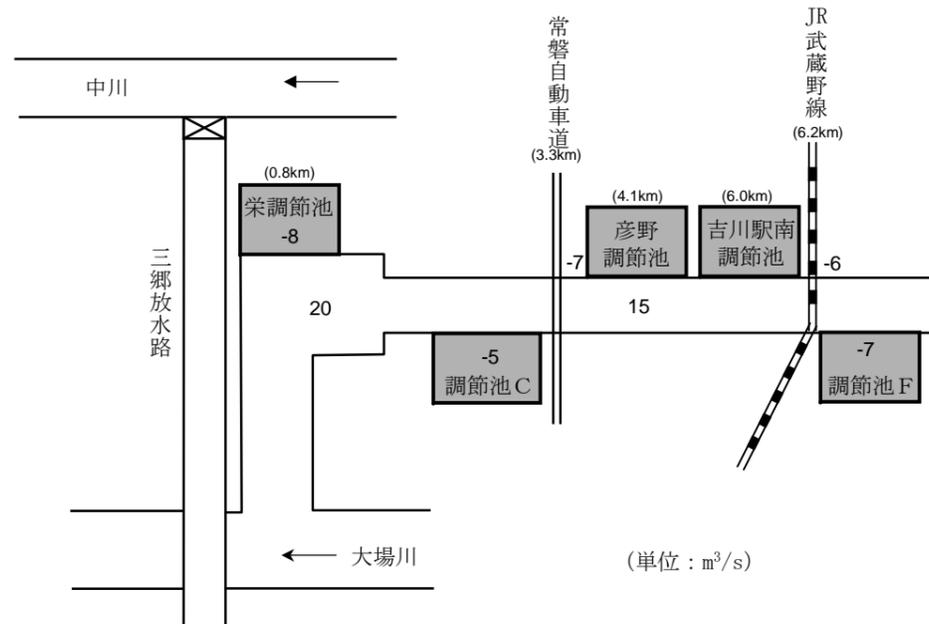
- ・第二大場川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (県管理区間下流端0.45km) ~ (上流端6.18km) A
- ・また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 <整備予定施設> (栄調節池) B
 (調節池) C
 (彦野調節池) D
 (吉川駅南調節池) E
 (調節池) F



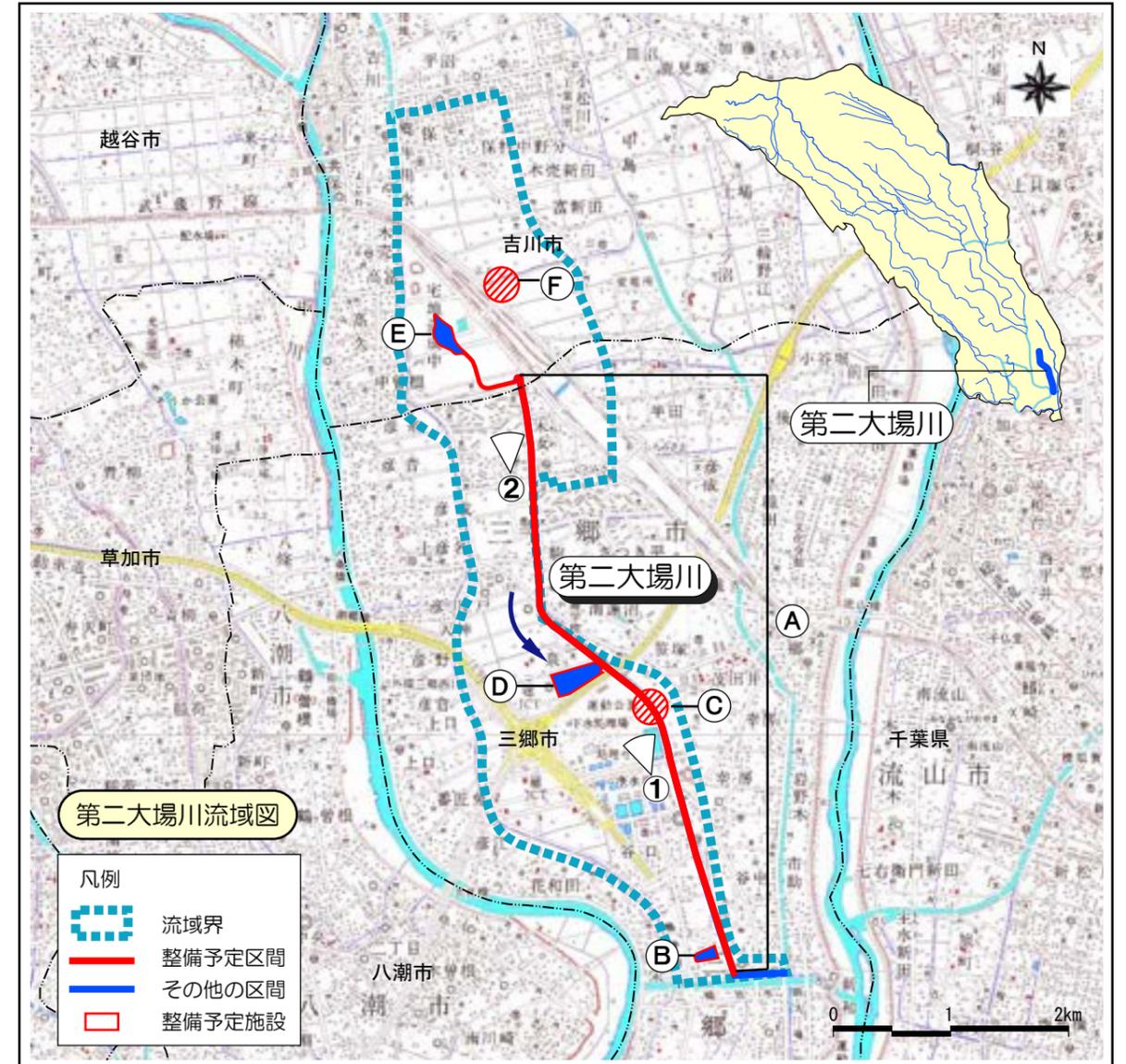
整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。

流量配分図



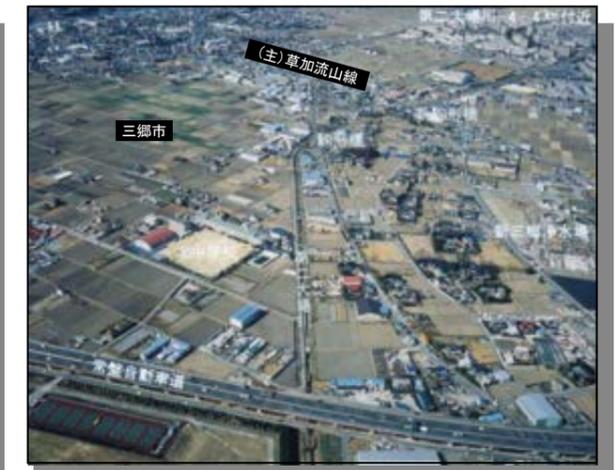
第二大場川・整備計画概要



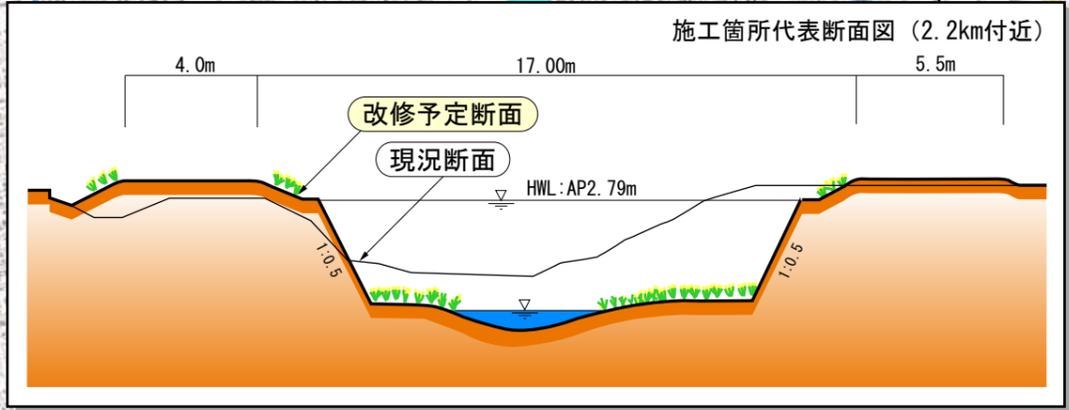
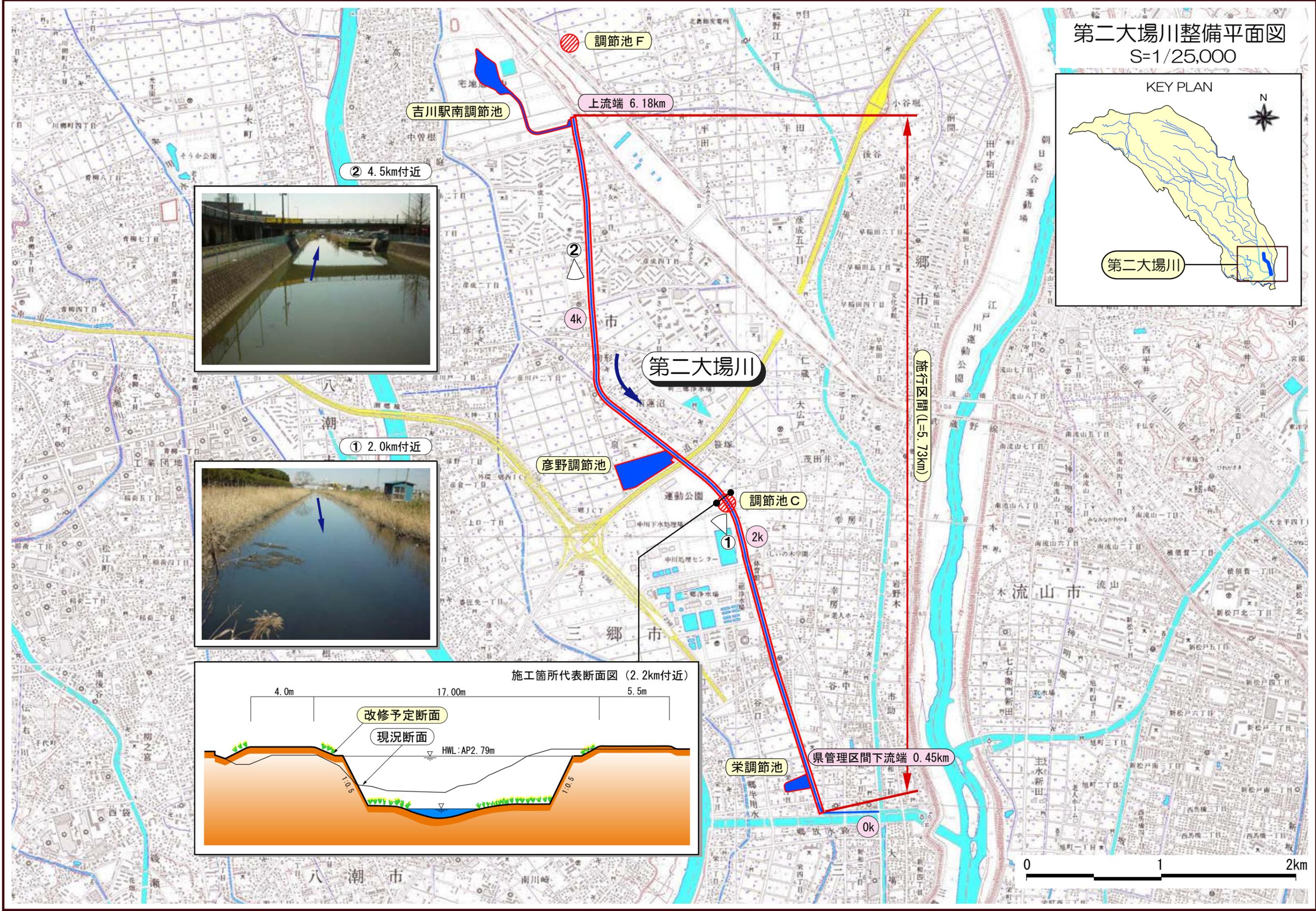
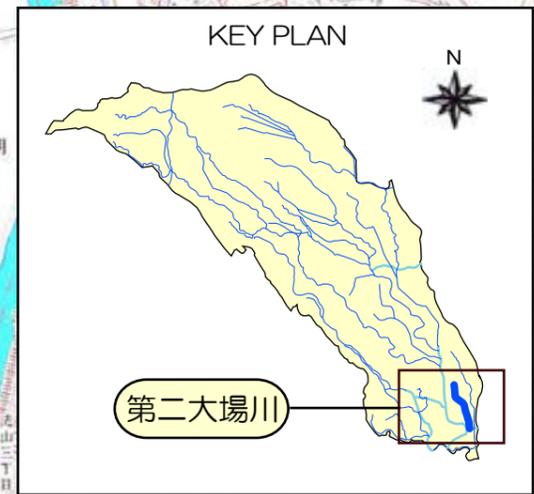
① 第二大場川1km付近



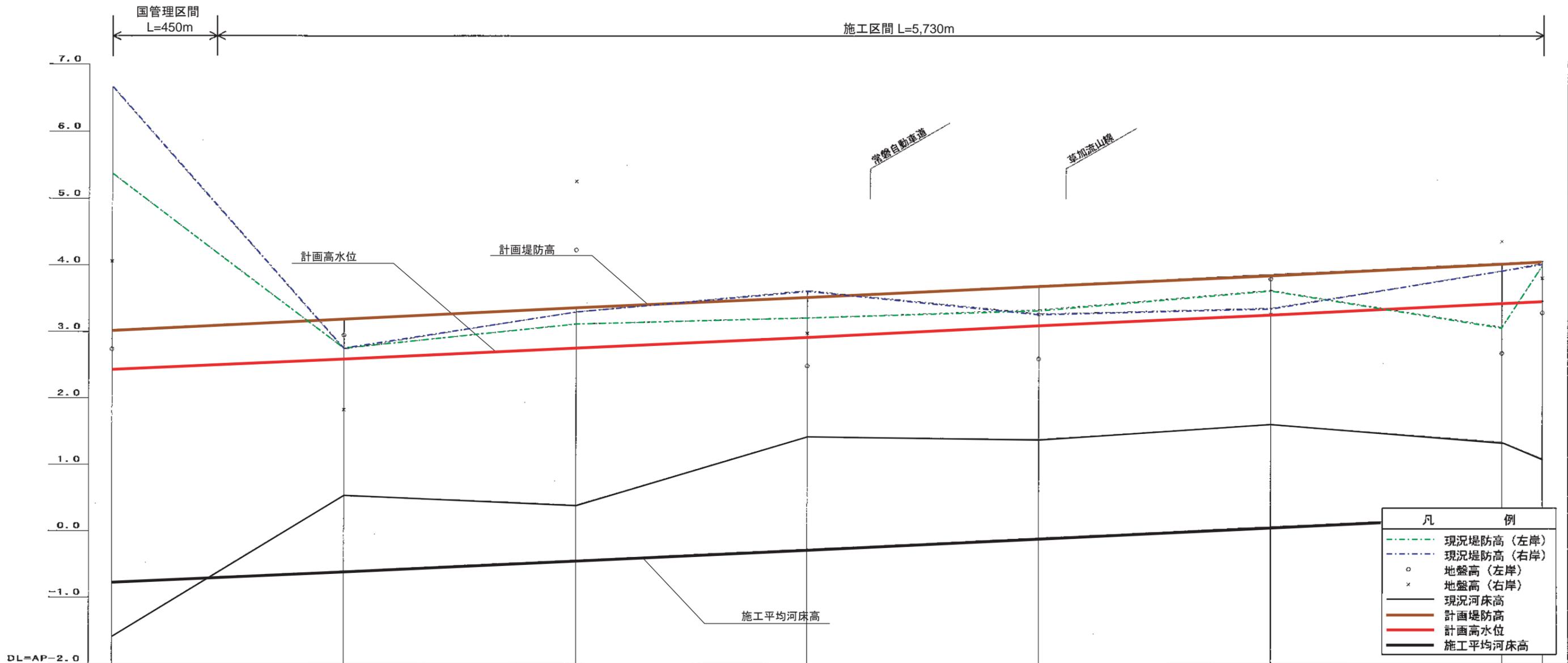
② 第二大場川4km付近



第二大場川整備平面図
S=1/25,000



第二大場川計画縦断図



計 画	水面勾配	1/6,000									
	河床勾配	1/6,000									
	堤防高	3.03	3.19	3.36	3.53	3.69	3.86	4.03	4.06		
	高水位	2.43	2.59	2.76	2.93	3.09	3.26	3.43	3.46		
	施工平均河床高	-0.78	-0.61	-0.44	-0.28	-0.11	0.06	0.23	0.26		
追加距離	0.000k	1.000k	2.000k	3.000k	4.000k	5.000k	6.000k	6.176k			

がけがわ

流域面積 9.57km²
 流路延長 2.100km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/1,500
 関係市町村 八潮市

流域および河川の概要

- ・ 垢川は、埼玉県八潮市と東京都足立区の行政界で綾瀬川から分派し、中川の国の管理区間右岸に合流する一級河川である
- ・ 流域は、中央部の比較的標高の高い地域で市街地または田畑地となっており、低地は水田として利用されていたが、近年、首都東京を中心としたスプロール的な都市化の影響を受け、住宅や工場の進出に伴う水田の埋め立てが進み市街化の著しい流域である。

治水計画

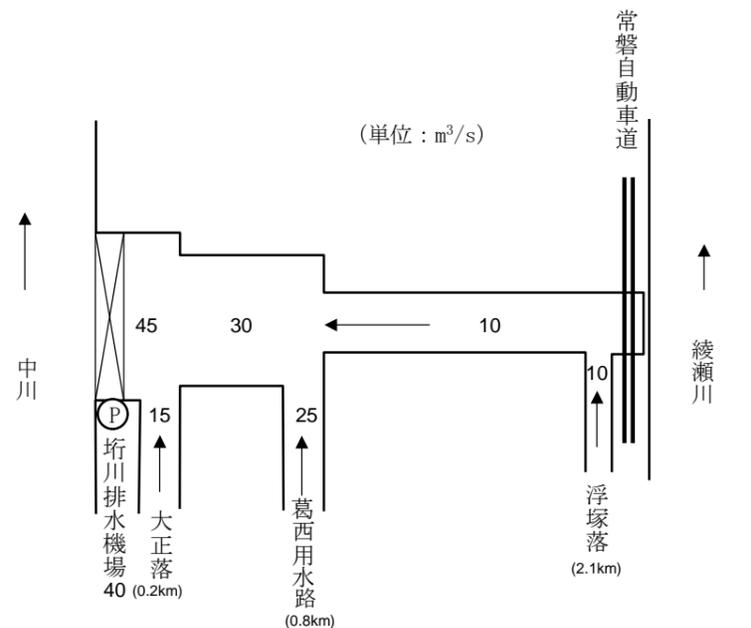
- ・ 垢川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河道を拡幅するとともに、築堤、河床掘削により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (葛西用水路合流点下流 0.78km) ~ (葛西用水路合流点上流 0.86km)・・・A



整備上の留意点

- ・ 護岸等の整備にあたっては、周辺と調和のとれた水辺づくりに努める。

流量配分図



垢川・整備計画概要

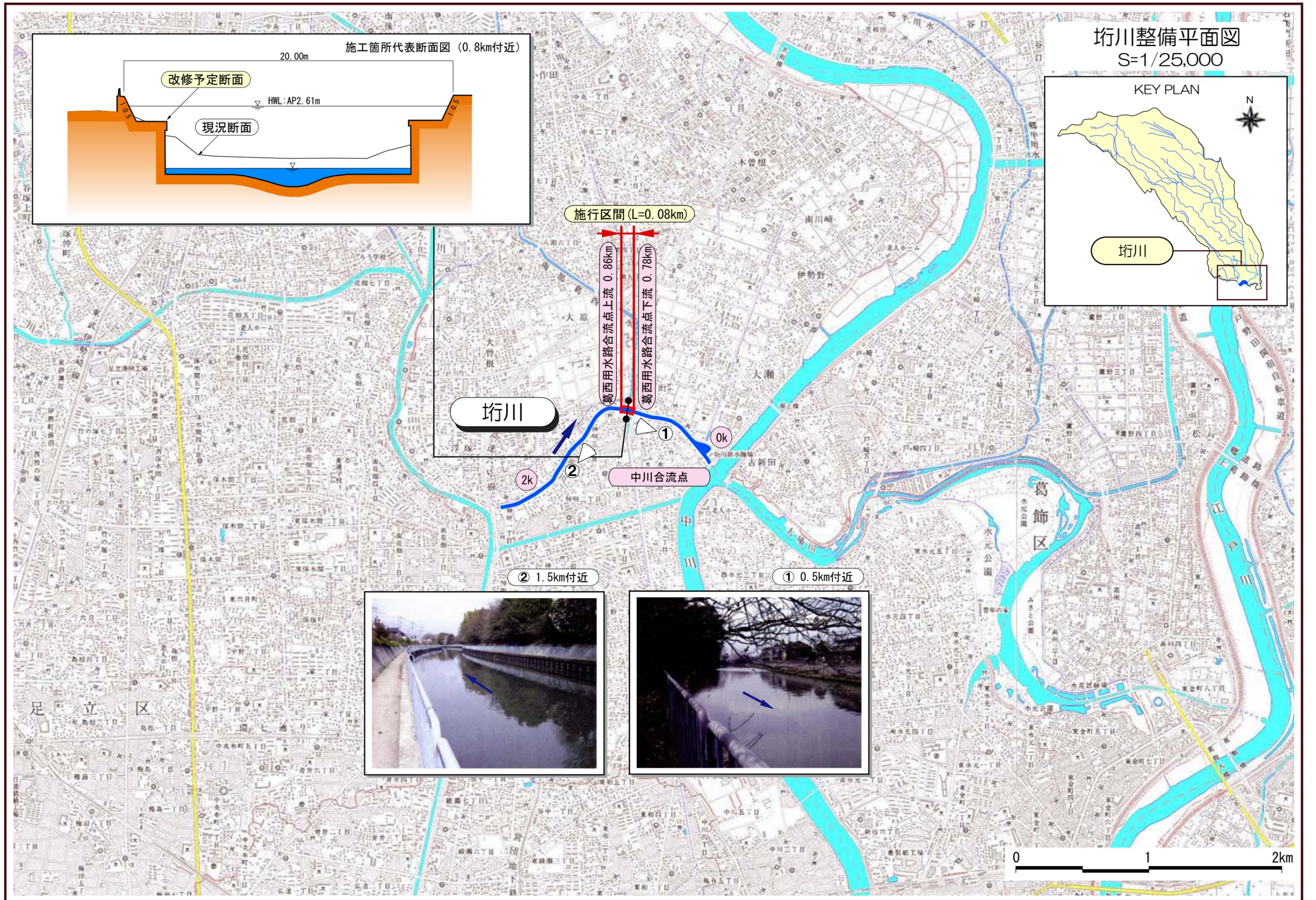


①垢川0km付近

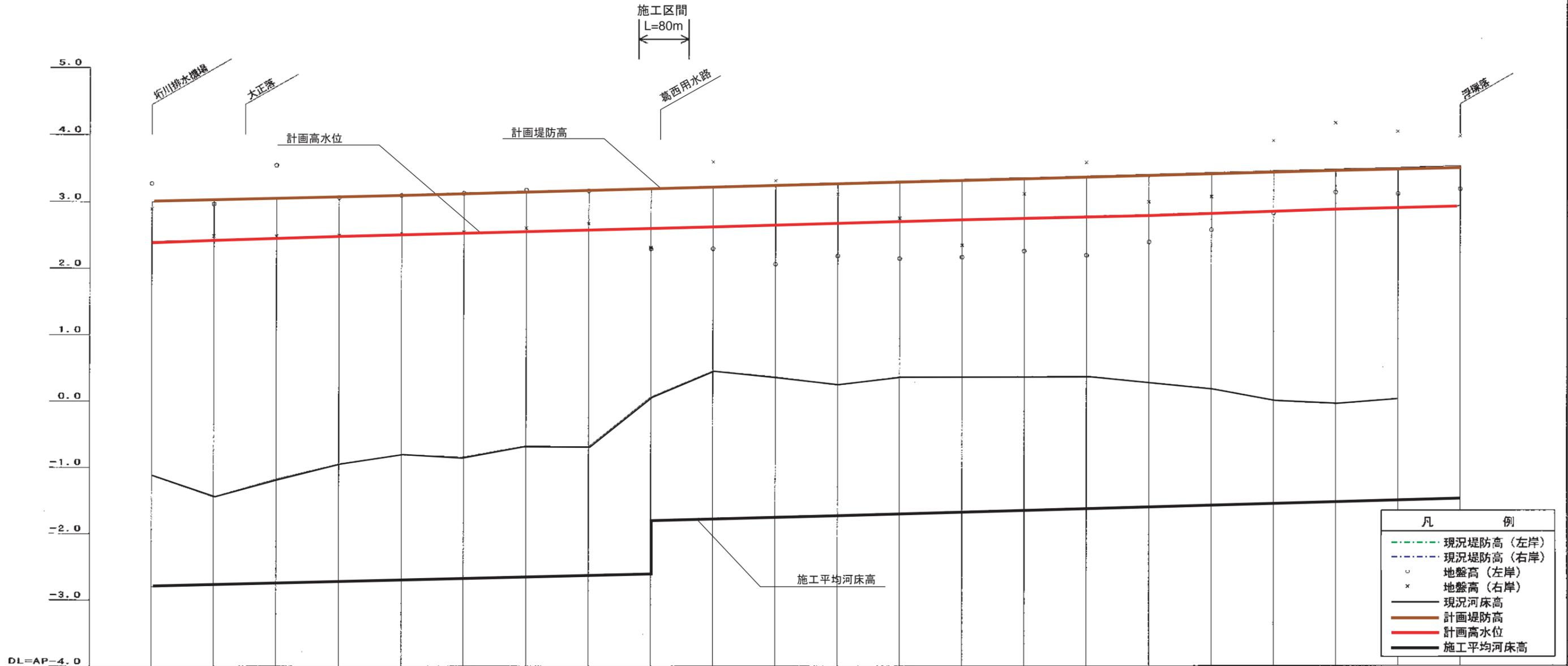


②垢川1km付近





圀川計画縦断図



DL=AP-4.0

追加距離	計画			
	施工平均河床高	高水位	堤防高	河床勾配
0.000k	-2.80	2.40	3.08	1/4,000
0.100k	-2.78	2.43	3.03	
0.200k	-2.75	2.45	3.05	
0.300k	-2.73	2.48	3.08	
0.400k	-2.70	2.50	3.10	
0.500k	-2.68	2.53	3.13	
0.600k	-2.65	2.55	3.15	
0.700k	-2.63	2.58	3.18	
0.800k	-2.60 -1.80	2.60	3.20	
0.900k	-1.78	2.63	3.23	
1.000k	-1.75	2.65	3.25	
1.100k	-1.73	2.68	3.28	
1.200k	-1.70	2.70	3.30	
1.300k	-1.68	2.73	3.33	
1.400k	-1.65	2.75	3.35	
1.500k	-1.63	2.78	3.38	
1.600k	-1.60	2.80	3.40	
1.700k	-1.58	2.83	3.43	
1.800k	-1.55	2.85	3.45	
1.900k	-1.53	2.88	3.48	
2.000k	-1.50	2.90	3.50	
2.100k	-1.48	2.93	3.53	